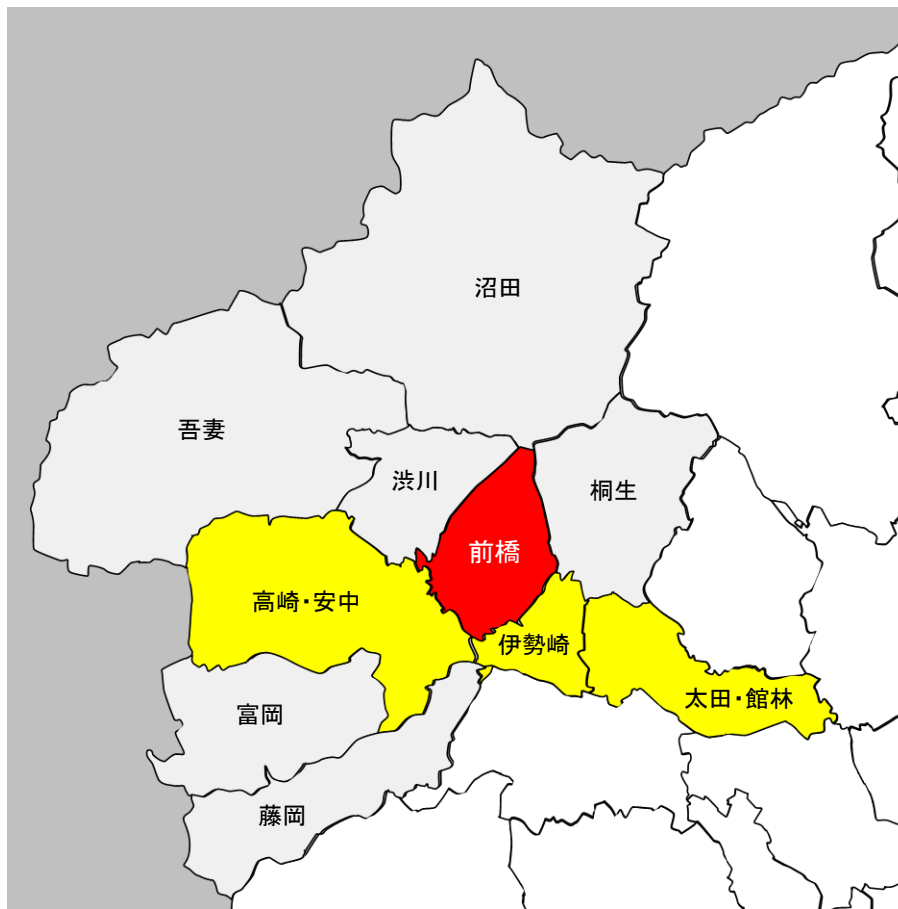


10. 群馬県

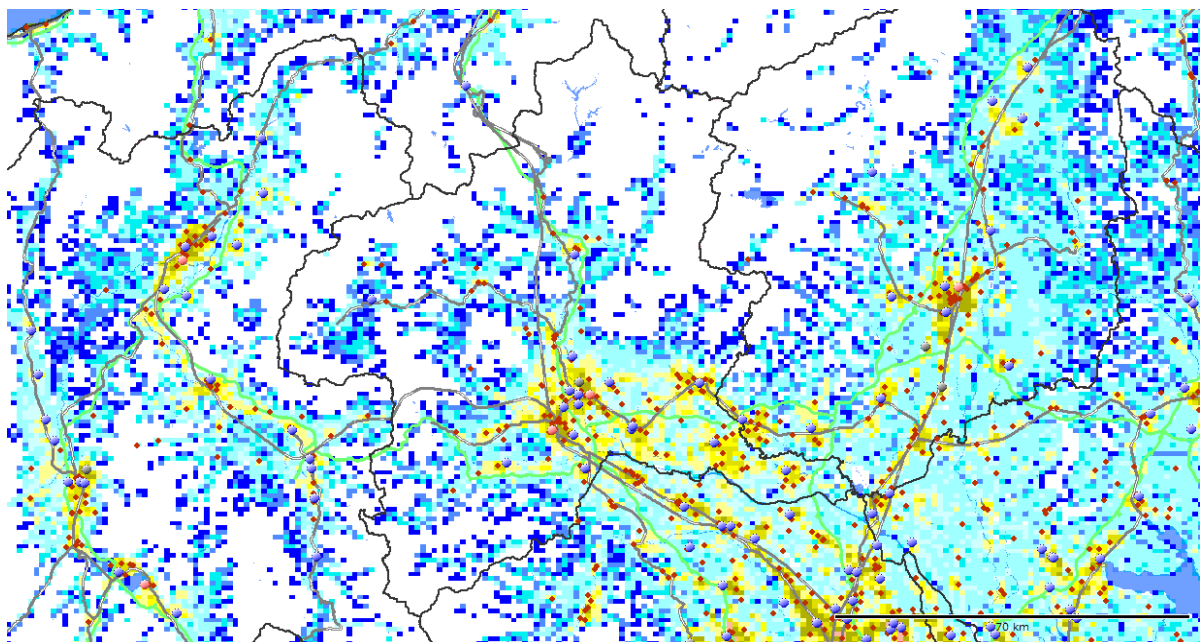


目次

群馬県	10	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	10	-	8
1. 前橋医療圏	10	-	26
2. 高崎・安中医療圏	10	-	31
3. 渋川医療圏	10	-	36
4. 藤岡医療圏	10	-	41
5. 富岡医療圏	10	-	46
6. 吾妻医療圏	10	-	51
7. 沼田医療圏	10	-	56
8. 伊勢崎医療圏	10	-	61
9. 桐生医療圏	10	-	66
10. 太田・館林医療圏	10	-	71

10. 群馬県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(群馬県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 群馬県は、総人口約1973千人(2015年)、面積6362km²、人口密度は310人/km²である。

*人口の将来予測： 群馬県の総人口は2025年に1858千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に1630千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の259千人が、2025年にかけて344千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には345千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 群馬県の一人当たり医療費(国保)は321千円(偏差値45)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 群馬県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.9で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数48、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 群馬県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、28734人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が18041床(偏差値57)、高齢者住宅等が10693床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、22184人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム46、軽費ホーム45、グループホーム50、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2949人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

群馬県の総人口は、2005年2024135人が、2015年に1973115人と3%減少し、2025年の人口が1857908人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

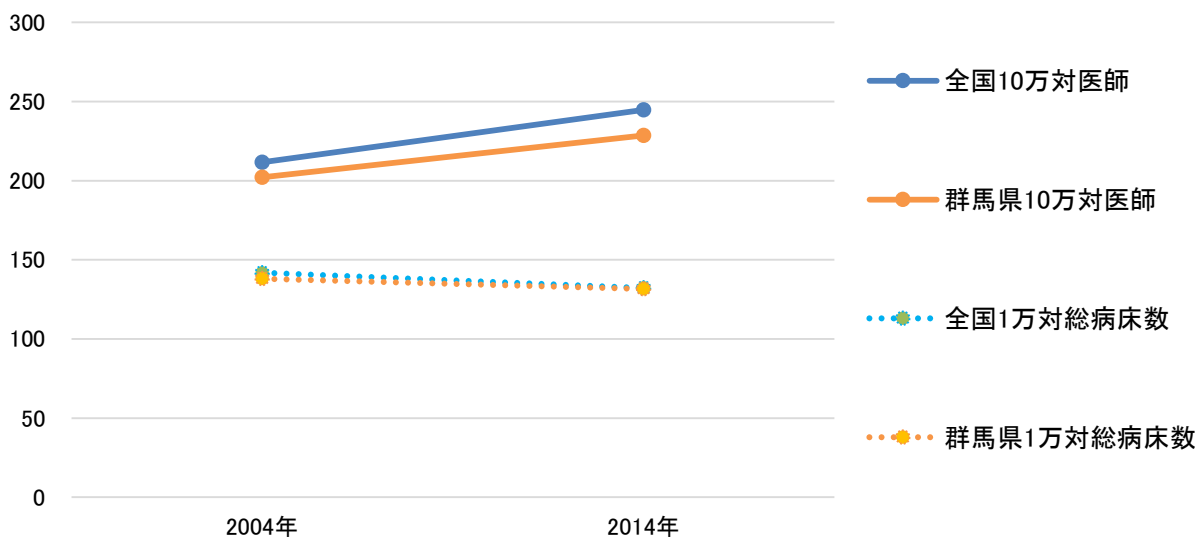
2004年の病院数が144(人口10万人当たり7.1病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に129(人口10万人当たり6.5病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で15病院が減少した。

2004年の診療所数が1511(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に1555(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、44診療所が増加した。

2004年の総病床数が27954床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に25979床(人口1万人当たり132(全国平均132)偏差値50)と、1975床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

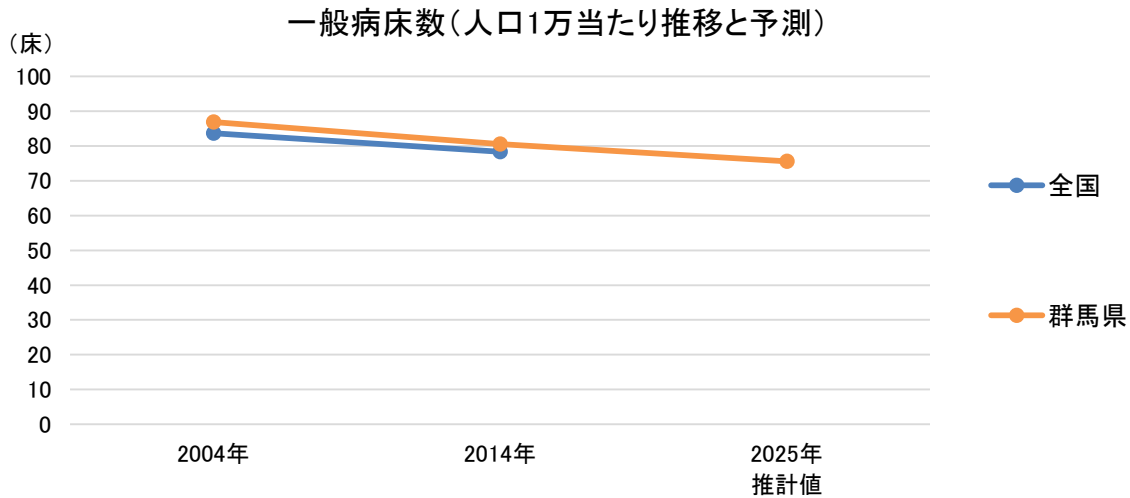
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が4094人(人口10万人当たり202人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に4509人(人口10万人当たり229人(全国平均245人)偏差値48)と、415人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



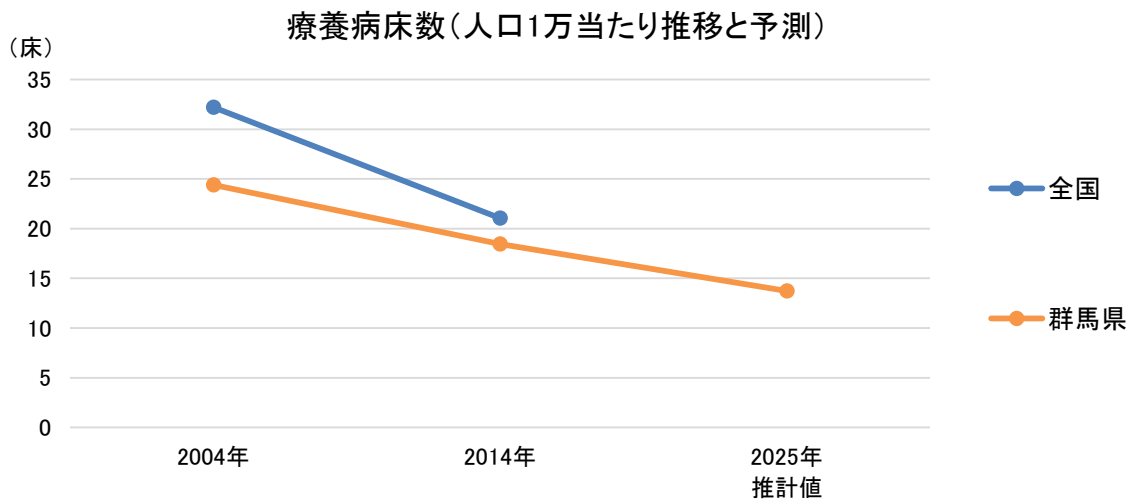
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17582床(人口1万人当たり87(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に15895床(人口1万人当たり81(全国平均78)偏差値51)と、1687床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には14039床(2025年の推計人口1万人当たり76)になることが予想される。



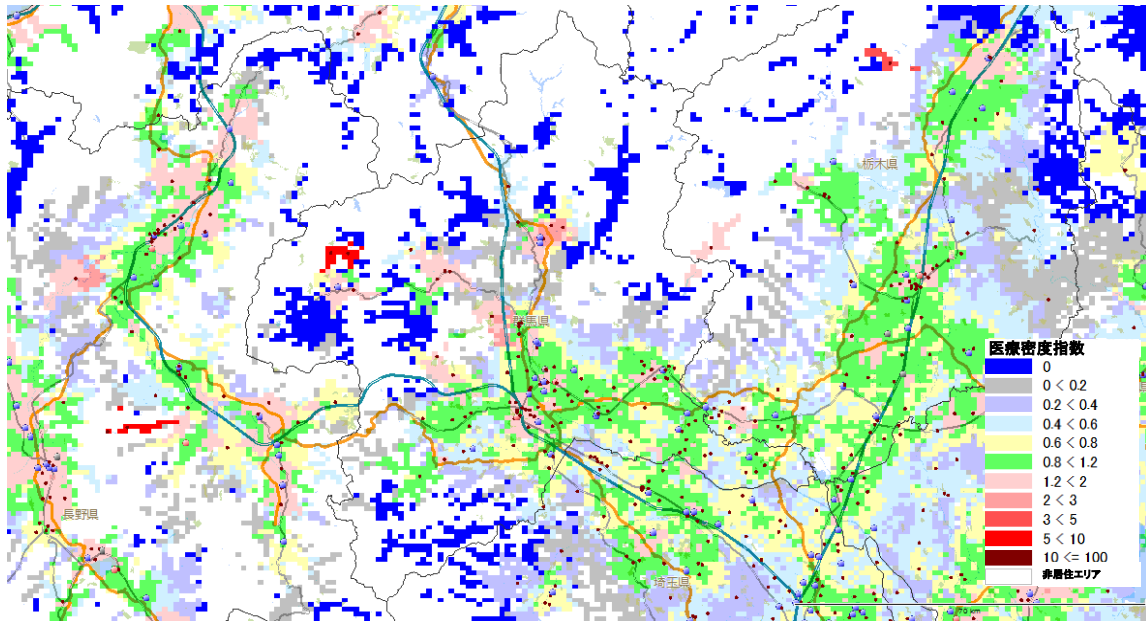
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4839床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に4781床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、58床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4718床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



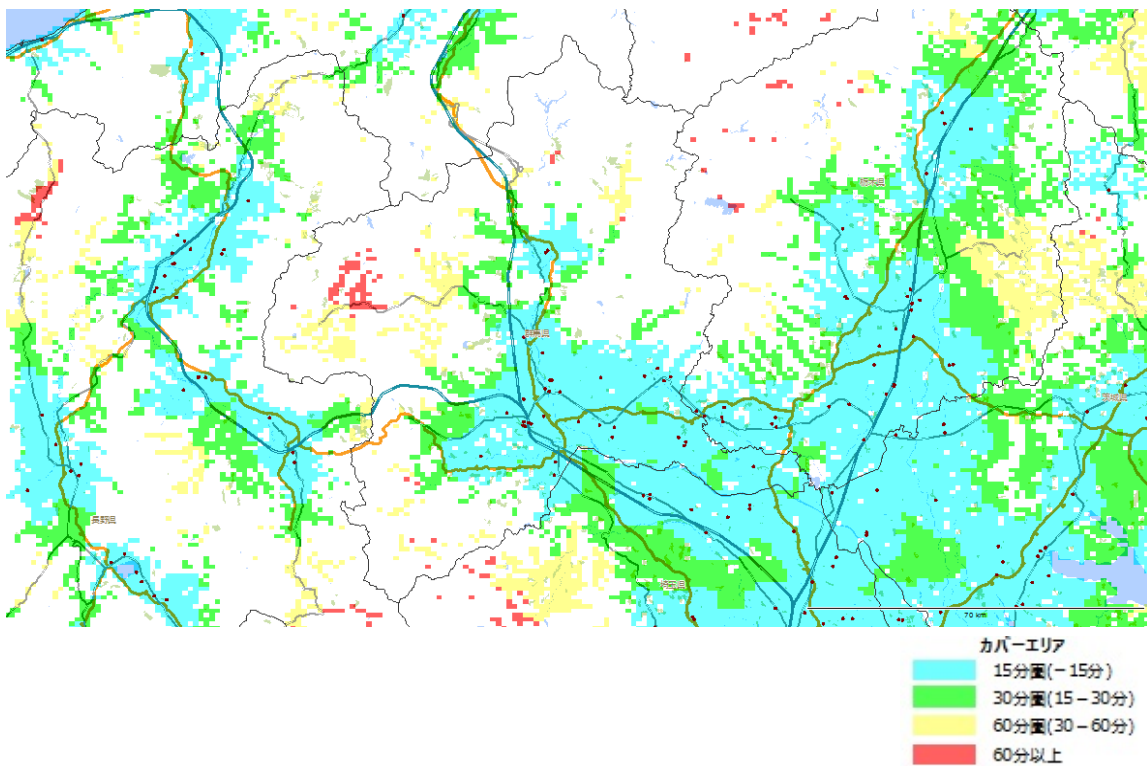
(群馬県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



10.群馬県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 10-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
群馬県	1,973	19位	6,362	21位	310.1		27%	1,858	1,630	259	344	345	-6%	-12%	33%	0%
前橋	336	17%	312	5%	1,078.8	地方都市型	27%	318	280	45	60	62	-5%	-12%	33%	3%
高崎・安中	429	22%	735	12%	583.9	地方都市型	27%	414	374	56	77	77	-3%	-10%	38%	0%
渋川	114	6%	289	5%	394.2	地方都市型	28%	106	91	16	21	21	-7%	-14%	31%	0%
藤岡	69	3%	477	7%	144.5	過疎地域型	30%	64	53	10	13	13	-7%	-17%	30%	0%
富岡	72	4%	489	8%	148.3	過疎地域型	33%	65	52	13	15	15	-10%	-20%	15%	0%
吾妻	56	3%	1,279	20%	44.1	過疎地域型	35%	49	38	11	12	12	-13%	-22%	9%	0%
沼田	83	4%	1,766	28%	47.2	過疎地域型	32%	74	60	15	16	16	-11%	-19%	7%	0%
伊勢崎	245	12%	165	3%	1,485.7	地方都市型	23%	240	223	26	37	40	-2%	-7%	42%	8%
桐生	166	8%	483	8%	343.0	地方都市型	31%	149	121	25	31	28	-10%	-19%	24%	-10%
太田・館林	401	20%	369	6%	1,088.4	地方都市型	25%	379	338	43	63	62	-5%	-11%	47%	-2%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資_図表 10-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
群馬県	0.91	0.90	24,024	27,989	-16.5%
前橋	1.04	0.78	3,670	4,875	-32.8%
高崎・安中	1.03	0.87	5,040	6,227	-23.6%
渋川	1.02	0.53	1,465	1,685	-15.0%
藤岡	0.76	0.66	972	1,051	-8.1%
富岡	0.63	1.02	1,465	1,217	16.9%
吾妻	0.60	2.13	929	988	-6.4%
沼田	0.81	1.64	1,587	1,327	16.4%
伊勢崎	0.81	0.74	2,124	2,975	-40.1%
桐生	0.91	1.16	2,290	2,547	-11.2%
太田・館林	0.84	0.80	4,482	5,095	-13.7%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 10-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
群馬県	321	45	0.936	122	47	0.935	177	44	0.944	254	50
前橋	337	49	0.984	131	50	1.007	184	48	0.980	252	50
高崎・安中	330	47	0.944	126	49	0.952	181	46	0.944	264	53
渋川	336	48	0.969	138	53	1.047	176	43	0.924	272	55
藤岡	351	52	1.000	138	53	1.037	191	52	0.994	254	50
富岡	319	44	0.884	125	48	0.909	172	41	0.868	253	50
吾妻	337	49	0.957	149	56	1.108	168	39	0.871	230	44
沼田	306	42	0.914	126	48	0.985	160	35	0.871	278	57
伊勢崎	301	40	0.922	109	43	0.884	171	40	0.952	250	49
桐生	337	48	0.962	124	48	0.929	190	51	0.992	271	55
太田・館林	295	39	0.877	102	41	0.801	172	41	0.932	231	44
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表10-35を参照。

資_図表 10-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
群馬県	130	1.5%	6.6	50	1,558	1.5%	79	50
前橋	20	15%	5.9	48	339	22%	101	61
高崎・安中	32	25%	7.5	52	384	25%	89	55
渋川	11	8%	9.7	57	75	5%	66	43
藤岡	5	4%	7.3	51	51	3%	74	47
富岡	4	3%	5.5	47	61	4%	84	52
吾妻	9	7%	16.0	73	36	2%	64	42
沼田	7	5%	8.4	54	57	4%	68	44
伊勢崎	11	8%	4.5	45	167	11%	68	44
桐生	12	9%	7.2	51	131	8%	79	50
太田・館林	19	15%	4.7	45	257	16%	64	42
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 10-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
群馬県	1,558	1.5%	79	50	1,459	1.6%	74	50	99	1.2%	5.0	48
前橋	339	22%	101	61	317	22%	94	61	22	22%	6.5	50
高崎・安中	384	25%	89	55	357	24%	83	55	27	27%	6.3	50
渋川	75	5%	66	43	71	5%	62	44	4	4%	3.5	46
藤岡	51	3%	74	47	47	3%	68	47	4	4%	5.8	49
富岡	61	4%	84	52	59	4%	81	54	2	2%	2.8	44
吾妻	36	2%	64	42	32	2%	57	41	4	4%	7.1	51
沼田	57	4%	68	44	53	4%	64	45	4	4%	4.8	48
伊勢崎	167	11%	68	44	153	10%	62	44	14	14%	5.7	49
桐生	131	8%	79	50	123	8%	74	51	8	8%	4.8	48
太田・館林	257	16%	64	42	247	17%	62	44	10	10%	2.5	44
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 10-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
群馬県	24,646	1.6%	1,249	50	1,301	1.2%	66	48	25,947	1.6%	1,315	50
前橋	4,506	18%	1,340	52	315	24%	94	51	4,821	19%	1,434	52
高崎・安中	4,553	18%	1,060	47	328	25%	76	49	4,881	19%	1,137	47
渋川	2,263	9%	1,989	65	34	3%	30	45	2,297	9%	2,018	63
藤岡	898	4%	1,303	51	71	5%	103	52	969	4%	1,407	52
富岡	1,214	5%	1,675	59	28	2%	39	45	1,242	5%	1,713	57
吾妻	1,505	6%	2,669	79	59	5%	105	52	1,564	6%	2,773	76
沼田	990	4%	1,187	49	68	5%	82	50	1,058	4%	1,268	49
伊勢崎	2,711	11%	1,104	47	163	13%	66	48	2,874	11%	1,171	47
桐生	2,252	9%	1,360	53	108	8%	65	48	2,360	9%	1,425	52
太田・館林	3,754	15%	935	44	127	10%	32	45	3,881	15%	967	44
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 10-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
群馬県	14,650	1.6%	742	52	4,689	1.4%	238	49	5,186	1.5%	263	50
前橋	3,105	21%	924	60	401	9%	119	43	983	19%	292	51
高崎・安中	2,636	18%	614	46	1,019	22%	237	49	882	17%	205	47
渋川	1,081	7%	950	61	155	3%	136	44	973	19%	855	77
藤岡	703	5%	1,020	64	191	4%	277	51	0	0%	0	38
富岡	543	4%	749	52	307	7%	424	58	360	7%	497	61
吾妻	787	5%	1,396	80	491	10%	871	79	223	4%	395	56
沼田	704	5%	844	56	282	6%	338	54	0	0%	0	38
伊勢崎	1,478	10%	602	46	420	9%	171	46	809	16%	330	53
桐生	1,299	9%	784	54	583	12%	352	54	366	7%	221	48
太田・館林	2,314	16%	576	44	840	18%	209	48	590	11%	147	45
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 10-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
群馬県	1,213	1.7%	61	51	1,361	2.2%	69	52
前橋	132	11%	39	46	110	8%	33	45
高崎・安中	303	25%	71	53	164	12%	38	46
渋川	43	4%	38	46	171	13%	150	66
藤岡	55	5%	80	55	131	10%	190	73
富岡	57	5%	79	54	101	7%	139	64
吾妻	156	13%	277	96	82	6%	145	65
沼田	0	0%	0	38	166	12%	199	75
伊勢崎	190	16%	77	54	102	7%	42	47
桐生	106	9%	64	51	211	16%	127	62
太田・館林	171	14%	43	47	123	9%	31	45
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 10-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
群馬県	9,707	7,905	760	14,978	6,752	3,969	53.9%	51	16.1%	53
前橋	2,877	2,309	110	1,629	796	291	74.4%	59	27.4%	58
高崎・安中	992	815	161	3,565	1,825	858	30.9%	41	15.8%	53
渋川	684	630	0	1,579	451	155	58.3%	53	0.0%	46
藤岡	494	443	47	404	260	144	63.0%	54	24.6%	57
富岡	654	543	107	560	0	200	100.0%	70	34.9%	61
吾妻	1,057	634	196	448	153	295	80.6%	62	39.9%	63
沼田	199	195	0	820	538	282	26.6%	39	0.0%	46
伊勢崎	958	590	99	1,753	888	321	39.9%	45	23.6%	56
桐生	706	666	40	1,586	637	583	51.1%	50	6.4%	49
太田・館林	1,086	1,080	0	2,634	1,204	840	47.3%	48	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 10-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
群馬県	40,008	1.4%	2,028	48	16,800	1.6%	851	52
前橋	15,036	38%	4,473	72	4,404	26%	1,310	68
高崎・安中	5,664	14%	1,319	41	3,900	23%	908	54
渋川	1,584	4%	1,392	42	684	4%	601	43
藤岡	1,284	3%	1,864	47	648	4%	941	55
富岡	2,232	6%	3,079	58	648	4%	894	53
吾妻	300	1%	532	34	144	1%	255	31
沼田	1,284	3%	1,539	43	588	4%	705	46
伊勢崎	4,116	10%	1,677	45	1,944	12%	792	50
桐生	2,340	6%	1,413	42	1,284	8%	775	49
太田・館林	6,168	15%	1,536	43	2,556	15%	637	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 10-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
群馬県	5,094	1.5%	258	48	3,076	1.4%	156	48	2,018	1.5%	102	50
前橋	1,514	30%	450	70	1,073	35%	319	73	441	22%	131	59
高崎・安中	1,060	21%	247	47	502	16%	117	42	558	28%	130	59
渋川	289	6%	254	48	185	6%	162	49	105	5%	92	46
藤岡	181	4%	262	49	113	4%	163	49	68	3%	99	49
富岡	182	4%	251	48	114	4%	157	48	69	3%	95	47
吾妻	115	2%	204	42	73	2%	130	44	42	2%	74	41
沼田	187	4%	224	45	115	4%	137	45	72	4%	87	45
伊勢崎	507	10%	207	43	283	9%	115	42	224	11%	91	46
桐生	375	7%	226	45	213	7%	129	44	161	8%	97	48
太田・館林	685	13%	171	39	406	13%	101	40	278	14%	69	39
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 10-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
群馬県	247	1.6%	12.5	50	223	1.8%	11.3	53	162	1.6%	8.2	50
前橋	89	36%	26.5	72	73	33%	21.7	77	52	32%	15.5	70
高崎・安中	47	19%	10.9	48	44	20%	10.2	51	36	22%	8.4	50
渋川	14	6%	12.3	50	31	14%	27.2	89	8	5%	7.0	47
藤岡	19	8%	27.6	73	4	2%	5.8	41	7	4%	10.2	55
富岡	8	3%	11.0	48	5	2%	6.9	43	7	4%	9.7	54
吾妻	4	2%	7.1	42	1	0%	1.8	32	2	1%	3.5	37
沼田	14	6%	16.8	57	3	1%	3.6	36	8	5%	9.6	54
伊勢崎	19	8%	7.7	43	18	8%	7.3	44	14	9%	5.7	43
桐生	13	5%	7.8	43	25	11%	15.1	62	10	6%	6.0	44
太田・館林	20	8%	5.0	39	19	9%	4.7	39	18	11%	4.5	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 10-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
群馬県	82	1.6%	4.2	50	125	1.3%	6.3	47	86	1.2%	4.4	44
前橋	25	30%	7.4	66	46	37%	13.7	70	29	34%	8.6	61
高崎・安中	18	22%	4.2	50	24	19%	5.6	44	18	21%	4.2	43
渋川	4	5%	3.5	47	5	4%	4.4	40	4	5%	3.5	41
藤岡	2	2%	2.9	44	3	2%	4.4	40	1	1%	1.5	33
富岡	2	2%	2.8	43	3	2%	4.1	40	5	6%	6.9	54
吾妻	2	2%	3.5	47	2	2%	3.5	38	0	0%	0	27
沼田	4	5%	4.8	53	3	2%	3.6	38	1	1%	1.2	32
伊勢崎	12	15%	4.9	54	11	9%	4.5	41	9	10%	3.7	41
桐生	6	7%	3.6	47	10	8%	6.0	46	7	8%	4.2	44
太田・館林	7	9%	1.7	38	18	14%	4.5	41	12	14%	3.0	39
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 10-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
群馬県	140	1.7%	7.1	52	328	1.6%	16.6	51	230	1.5%	11.7	49
前橋	36	26%	10.7	62	106	32%	31.5	73	63	27%	18.7	65
高崎・安中	33	24%	7.7	53	54	16%	12.6	45	59	26%	13.7	54
渋川	18	13%	15.8	77	28	9%	24.6	62	5	2%	4.4	33
藤岡	1	1%	1.5	35	13	4%	18.9	54	9	4%	13.1	52
富岡	2	1%	2.8	39	10	3%	13.8	47	10	4%	13.8	54
吾妻	3	2%	5.3	47	5	2%	8.9	40	2	1%	3.5	31
沼田	1	1%	1.2	35	9	3%	10.8	42	6	3%	7.2	39
伊勢崎	25	18%	10.2	61	32	10%	13.0	46	21	9%	8.6	42
桐生	10	7%	6.0	49	18	5%	10.9	42	14	6%	8.5	42
太田・館林	11	8%	2.7	39	53	16%	13.2	46	41	18%	10.2	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 10-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
群馬県	100	1.8%	5.1	53	87	1.4%	4.4	47	81	1.5%	4.1	50
前橋	29	29%	8.6	70	25	29%	7.4	60	42	52%	12.5	79
高崎・安中	21	21%	4.9	52	20	23%	4.7	48	7	9%	1.6	41
渋川	3	3%	2.6	41	2	2%	1.8	36	4	5%	3.5	48
藤岡	3	3%	4.4	49	3	3%	4.4	47	1	1%	1.5	41
富岡	4	4%	5.5	55	2	2%	2.8	40	2	2%	2.8	45
吾妻	1	1%	1.8	37	0	0%	0	28	0	0%	0	36
沼田	4	4%	4.8	51	8	9%	9.6	70	1	1%	1.2	40
伊勢崎	13	13%	5.3	54	10	11%	4.1	46	10	12%	4.1	50
桐生	7	7%	4.2	49	4	5%	2.4	39	0	0%	0	36
太田・館林	15	15%	3.7	46	13	15%	3.2	42	14	17%	3.5	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 10-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
群馬県	109	1.7%	5.5	51	24	1.6%	1.2	50	33	1.0%	1.7	45
前橋	42	39%	12.5	74	12	50%	3.6	76	18	55%	5.4	66
高崎・安中	17	16%	4.0	46	3	13%	0.7	44	3	9%	0.7	39
渋川	8	7%	7.0	56	0	0%	0	37	1	3%	0.9	40
藤岡	5	5%	7.3	57	1	4%	1.5	53	1	3%	1.5	43
富岡	3	3%	4.1	47	0	0%	0	37	0	0%	0	35
吾妻	1	1%	1.8	39	0	0%	0	37	0	0%	0	35
沼田	2	2%	2.4	41	2	8%	2.4	63	0	0%	0	35
伊勢崎	7	6%	2.9	42	2	8%	0.8	46	4	12%	1.6	44
桐生	7	6%	4.2	47	2	8%	1.2	50	1	3%	0.6	38
太田・館林	17	16%	4.2	47	2	8%	0.5	42	5	15%	1.2	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

10.群馬県(2017年版)

資_図表 10-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
群馬県	12	0.6%	0.6	42	28	1.2%	1.4	47
前橋	5	42%	1.5	49	9	32%	2.7	56
高崎・安中	2	17%	0.5	41	8	29%	1.9	50
渋川	2	17%	1.8	52	0	0%	0	36
藤岡	0	0%	0	37	1	4%	1.5	47
富岡	0	0%	0	37	1	4%	1.4	46
吾妻	0	0%	0	37	0	0%	0	36
沼田	0	0%	0	37	1	4%	1.2	45
伊勢崎	1	8%	0.4	40	4	14%	1.6	48
桐生	1	8%	0.6	42	1	4%	0.6	40
太田・館林	1	8%	0.2	39	3	11%	0.7	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 10-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
群馬県	17,793	1.6%	902	51	14,624	1.6%	741	51	3,170	1.6%	161	51
前橋	4,052	23%	1,205	61	3,450	24%	1,026	63	602	19%	179	53
高崎・安中	3,520	20%	820	48	2,619	18%	610	45	901	28%	210	57
渋川	1,225	7%	1,076	57	1,104	8%	970	60	121	4%	107	43
藤岡	681	4%	989	54	541	4%	785	53	140	4%	204	57
富岡	799	4%	1,102	58	638	4%	880	57	161	5%	222	59
吾妻	568	3%	1,007	55	529	4%	938	59	39	1%	69	38
沼田	762	4%	914	51	628	4%	753	51	135	4%	161	51
伊勢崎	1,972	11%	803	47	1,612	11%	657	47	360	11%	146	49
桐生	1,514	9%	914	51	1,278	9%	772	52	236	7%	142	48
太田・館林	2,701	15%	673	43	2,225	15%	554	43	476	15%	118	45
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 10-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
群馬県	1,988	1.6%	101	50	3,583	1.2%	182	45
前橋	342	17%	102	50	810	23%	241	52
高崎・安中	419	21%	98	50	874	24%	204	47
渋川	92	5%	80	46	159	4%	140	40
藤岡	94	5%	136	57	136	4%	197	47
富岡	76	4%	105	51	117	3%	161	43
吾妻	147	7%	261	80	69	2%	122	39
沼田	143	7%	172	64	101	3%	121	38
伊勢崎	240	12%	98	50	385	11%	157	42
桐生	167	8%	101	50	273	8%	165	43
太田・館林	268	13%	67	44	659	18%	164	43
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 10-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
群馬県	239	1.8%	0.9	52	19	1.6%	0.1	50	187	1.8%	0.7	54
前橋	78	33%	1.7	71	2	11%	0.0	45	37	20%	0.8	59
高崎・安中	52	22%	0.9	53	8	42%	0.1	61	43	23%	0.8	56
渋川	19	8%	1.2	59	0	0%	0	38	10	5%	0.6	49
藤岡	10	4%	1.0	54	1	5%	0.1	54	7	4%	0.7	53
富岡	10	4%	0.8	49	1	5%	0.1	50	5	3%	0.4	37
吾妻	1	0%	0.1	33	2	11%	0.2	67	5	3%	0.5	41
沼田	5	2%	0.3	39	2	11%	0.1	60	8	4%	0.5	45
伊勢崎	18	8%	0.7	47	0	0%	0	38	20	11%	0.8	56
桐生	16	7%	0.6	46	0	0%	0	38	21	11%	0.8	60
太田・館林	30	13%	0.7	47	3	16%	0.1	49	31	17%	0.7	54
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 10-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
群馬県	28,734	1.7%	111	54	18,041	1.8%	70	57	10,693	1.6%	41	49
前橋	4,545	16%	102	49	2,679	15%	60	49	1,866	17%	42	50
高崎・安中	6,239	22%	112	55	3,632	20%	65	53	2,607	24%	47	53
渋川	1,823	6%	116	57	1,170	6%	74	60	653	6%	41	49
藤岡	1,240	4%	124	62	793	4%	80	65	447	4%	45	52
富岡	1,579	5%	123	61	1,145	6%	89	73	434	4%	34	45
吾妻	987	3%	91	42	673	4%	62	50	314	3%	29	42
沼田	1,757	6%	119	59	1,018	6%	69	56	739	7%	50	55
伊勢崎	2,820	10%	107	52	1,775	10%	67	55	1,045	10%	40	48
桐生	2,559	9%	102	49	1,917	11%	77	62	642	6%	26	40
太田・館林	5,185	18%	120	60	3,239	18%	75	61	1,946	18%	45	52
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 10-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
群馬県	6,506	1.8%	25	54	10,909	1.9%	42	57	626	1.0%	2.4	46
前橋	904	14%	20	46	1,767	16%	40	55	8	1%	0.2	41
高崎・安中	1,388	21%	25	54	2,216	20%	40	55	28	4%	0.5	41
渋川	520	8%	33	68	650	6%	41	56	0	0%	0	40
藤岡	297	5%	30	62	460	4%	46	61	36	6%	3.6	49
富岡	398	6%	31	65	619	6%	48	64	128	20%	10.0	65
吾妻	230	4%	21	48	396	4%	36	52	47	8%	4.3	51
沼田	377	6%	26	55	641	6%	44	59	0	0%	0	40
伊勢崎	582	9%	22	49	1,105	10%	42	57	88	14%	3.3	48
桐生	734	11%	29	62	1,183	11%	47	63	0	0%	0	40
太田・館林	1,076	17%	25	54	1,872	17%	43	59	291	46%	6.7	57
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
群馬県	2,669	1.2%	10.3	46	105	0.5%	0.4	45	3,079	1.6%	11.9	50
前橋	550	21%	12.3	48	0	0%	0	43	441	14%	9.9	46
高崎・安中	670	25%	12.0	48	0	0%	0	43	738	24%	13.2	52
渋川	79	3%	5.0	41	0	0%	0	43	216	7%	13.7	53
藤岡	35	1%	3.5	40	0	0%	0	43	144	5%	14.4	54
富岡	80	3%	6.2	43	20	19%	1.6	51	180	6%	14.0	53
吾妻	85	3%	7.8	44	0	0%	0	43	171	6%	15.7	56
沼田	360	13%	24.4	59	30	29%	2.0	53	179	6%	12.2	50
伊勢崎	133	5%	5.0	41	0	0%	0	43	216	7%	8.2	43
桐生	84	3%	3.4	40	55	52%	2.2	54	234	8%	9.4	45
太田・館林	593	22%	13.7	49	0	0%	0	43	560	18%	13.0	51
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
群馬県	4,840	2.1%	18.7	56	130	0.8%	0.5	47	4,710	2.2%	18.2	57
前橋	875	18%	19.6	57	0	0%	0	44	875	19%	19.6	59
高崎・安中	1,199	25%	21.5	60	0	0%	0	44	1,199	25%	21.5	62
渋川	358	7%	22.7	61	0	0%	0	44	358	8%	22.7	64
藤岡	268	6%	26.9	67	0	0%	0	44	268	6%	26.9	70
富岡	154	3%	12.0	47	40	31%	3.1	63	114	2%	8.9	43
吾妻	58	1%	5.3	37	0	0%	0	44	58	1%	5.3	38
沼田	170	4%	11.5	46	0	0%	0	44	170	4%	11.5	47
伊勢崎	696	14%	26.4	67	0	0%	0	44	696	15%	26.4	69
桐生	269	6%	10.8	45	0	0%	0	44	269	6%	10.8	46
太田・館林	793	16%	18.4	55	90	69%	2.1	57	703	15%	16.3	54
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 10-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
群馬県	2,806	1.7%	10.8	52	2,016	1.7%	7.8	52	790	1.7%	3.0	52
前橋	483	17%	10.8	52	300	15%	6.7	47	182	23%	4.1	63
高崎・安中	608	22%	10.9	53	417	21%	7.5	50	190	24%	3.4	56
渋川	151	5%	9.6	47	113	6%	7.2	49	38	5%	2.4	46
藤岡	102	4%	10.2	50	82	4%	8.3	54	20	2%	2.0	41
富岡	176	6%	13.7	65	148	7%	11.5	70	28	3%	2.1	42
吾妻	104	4%	9.6	47	81	4%	7.5	50	22	3%	2.1	42
沼田	143	5%	9.7	48	107	5%	7.3	49	36	5%	2.4	46
伊勢崎	263	9%	10.0	49	174	9%	6.6	46	88	11%	3.3	55
桐生	239	9%	9.5	47	162	8%	6.5	46	77	10%	3.1	52
太田・館林	538	19%	12.5	60	431	21%	10.0	63	108	14%	2.5	46
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
					介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
群馬県	25,133	1.7%	97	55	22,184	1.8%	86	58	2,949	1.3%	11.4	46
前橋	4,160	17%	93	52	3,565	16%	80	53	594	20%	13.3	49
高崎・安中	5,664	23%	102	59	5,029	23%	90	62	635	22%	11.4	46
渋川	1,583	6%	100	58	1,423	6%	90	62	160	5%	10.1	43
藤岡	865	3%	87	47	768	3%	77	50	98	3%	9.8	43
富岡	1,191	5%	93	52	1,123	5%	88	60	68	2%	5.3	35
吾妻	766	3%	70	34	706	3%	65	40	60	2%	5.5	35
沼田	1,417	6%	96	55	1,282	6%	87	59	135	5%	9.2	42
伊勢崎	2,584	10%	98	56	2,219	10%	84	57	365	12%	13.9	50
桐生	2,382	9%	95	54	1,974	9%	79	52	409	14%	16.3	54
太田・館林	4,521	18%	105	62	4,096	18%	95	66	425	14%	9.8	43
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
群馬県	14,620	1.4%	56	47	7,183	1.6%	28	50	20,534	1.4%	79	46
前橋	3,851	26%	86	56	1,595	22%	36	56	4,427	22%	99	52
高崎・安中	4,041	28%	73	52	1,053	15%	19	42	4,112	20%	74	44
渋川	405	3%	26	37	280	4%	18	41	962	5%	61	40
藤岡	753	5%	76	53	153	2%	15	39	773	4%	78	46
富岡	117	1%	9	32	266	4%	21	44	537	3%	42	34
吾妻	258	2%	24	36	370	5%	34	55	503	2%	46	36
沼田	401	3%	27	38	379	5%	26	48	777	4%	53	38
伊勢崎	1,384	9%	53	46	878	12%	33	55	2,337	11%	89	49
桐生	1,486	10%	59	48	754	10%	30	52	2,890	14%	116	57
太田・館林	1,924	13%	45	43	1,455	20%	34	55	3,216	16%	75	45
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
群馬県		2,024,135	1,973,115	-3%	1,857,908	-8%	9%	4%	14%
前橋	地方都市型	340,904	336,154	-1%	317,897	-7%	10%	6%	17%
高崎・安中	地方都市型	428,098	429,415	0%	413,783	-3%	12%	6%	20%
渋川	地方都市型	119,687	113,800	-5%	106,385	-11%	7%	5%	12%
藤岡	過疎地域型	73,580	68,892	-6%	63,687	-13%	6%	3%	9%
富岡	過疎地域型	81,151	72,489	-11%	64,815	-20%	0%	-1%	-1%
吾妻	過疎地域型	65,619	56,391	-14%	49,068	-25%	-3%	-3%	-6%
沼田	過疎地域型	93,927	83,407	-11%	74,302	-21%	-1%	-2%	-3%
伊勢崎	地方都市型	240,615	245,468	2%	240,208	0%	14%	7%	22%
桐生	地方都市型	180,152	165,620	-8%	148,925	-17%	5%	-2%	4%
太田・館林	地方都市型	400,402	401,479	0%	378,838	-5%	14%	5%	19%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

10.群馬県(2017年版)

資_図表 10-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
群馬県	144	7.1	50	129	6.5	50	-15	-10%	113
前橋	23	6.7	49	20	5.9	48	-3	-13%	17
高崎・安中	37	8.6	54	31	7.2	51	-6	-16%	24
渋川	12	10.0	58	11	9.7	57	-1	-8%	10
藤岡	6	8.2	53	5	7.3	51	-1	-17%	4
富岡	5	6.2	48	4	5.5	47	-1	-20%	3
吾妻	9	13.7	67	9	16.0	72	0	0%	9
沼田	7	7.5	51	7	8.4	54	0	0%	7
伊勢崎	11	4.6	43	11	4.5	45	0	0%	11
桐生	14	7.8	52	12	7.2	51	-2	-14%	10
太田・館林	20	5.0	45	19	4.7	45	-1	-5%	18
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 10-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
群馬県	1,511	75	49	1,555	79	50	44	3%	1,602
前橋	355	104	64	339	101	62	-16	-5%	321
高崎・安中	354	83	53	385	90	56	31	9%	419
渋川	72	60	42	76	67	43	4	6%	80
藤岡	48	65	45	50	73	47	2	4%	52
富岡	57	70	47	60	83	52	3	5%	63
吾妻	37	56	40	34	60	40	-3	-8%	31
沼田	58	62	43	57	68	44	-1	-2%	56
伊勢崎	159	66	45	170	69	45	11	7%	182
桐生	146	81	53	135	82	51	-11	-8%	123
太田・館林	225	56	40	249	62	41	24	11%	275
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 10-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
群馬県	4,094	202	49	4,509	229	48	415	10%	4,965
前橋	1,367	401	73	1,547	460	73	180	13%	1,745
高崎・安中	715	167	45	886	206	46	171	24%	1,074
渋川	205	171	45	230	202	45	25	12%	258
藤岡	152	207	49	154	224	48	2	1%	156
富岡	164	202	49	157	217	47	-7	-4%	149
吾妻	102	155	43	85	151	40	-17	-17%	66
沼田	151	161	44	141	169	42	-10	-7%	130
伊勢崎	381	158	44	432	176	43	51	13%	488
桐生	333	185	47	320	193	44	-13	-4%	306
太田・館林	524	131	40	557	139	39	33	6%	593
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 10-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
群馬県	27,954	138	49	25,979	132	50	-1,975	-7%	23,806
前橋	5,099	150	51	4,806	143	52	-293	-6%	4,484
高崎・安中	5,138	120	46	4,871	113	47	-267	-5%	4,577
渋川	2,306	193	59	2,297	202	62	-9	0%	2,287
藤岡	1,019	138	49	969	141	51	-50	-5%	914
富岡	1,245	153	52	1,242	171	57	-3	0%	1,239
吾妻	1,894	289	76	1,564	277	76	-330	-17%	1,201
沼田	1,227	131	48	1,087	130	50	-140	-11%	933
伊勢崎	3,109	129	48	2,893	118	47	-216	-7%	2,655
桐生	2,679	149	51	2,373	143	52	-306	-11%	2,036
太田・館林	4,238	106	44	3,877	97	44	-361	-9%	3,480
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 10-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
群馬県	17,582	87	51	15,895	81	51	-1,687	-10%	14,039	76
前橋	3,622	106	58	3,391	101	58	-231	-6%	3,137	99
高崎・安中	3,258	76	47	2,950	69	46	-308	-9%	2,611	63
渋川	1,083	90	52	1,115	98	57	32	3%	1,150	108
藤岡	833	113	60	764	111	62	-69	-8%	688	108
富岡	576	71	46	552	76	49	-24	-4%	526	81
吾妻	1,368	208	94	846	150	76	-522	-38%	272	55
沼田	824	88	51	797	96	56	-27	-3%	767	103
伊勢崎	1,579	66	44	1,641	67	46	62	4%	1,709	71
桐生	1,717	95	54	1,408	85	52	-309	-18%	1,068	72
太田・館林	2,722	68	44	2,431	61	43	-291	-11%	2,111	56
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 10-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
群馬県	4,839	24	46	4,781	18	48	-58	-1%	4,718	14
前橋	459	14	40	415	9	40	-44	-10%	367	6
高崎・安中	972	24	45	1,023	18	48	51	5%	1,079	14
渋川	200	16	41	155	10	40	-45	-23%	106	5
藤岡	182	23	45	201	20	49	19	10%	222	17
富岡	305	27	47	326	25	54	21	7%	349	23
吾妻	299	32	50	491	45	70	192	64%	702	58
沼田	351	28	47	286	19	49	-65	-19%	215	13
伊勢崎	586	31	49	439	17	46	-147	-25%	277	8
桐生	592	30	49	595	24	52	3	1%	598	19
太田・館林	893	28	47	850	20	49	-43	-5%	803	13
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

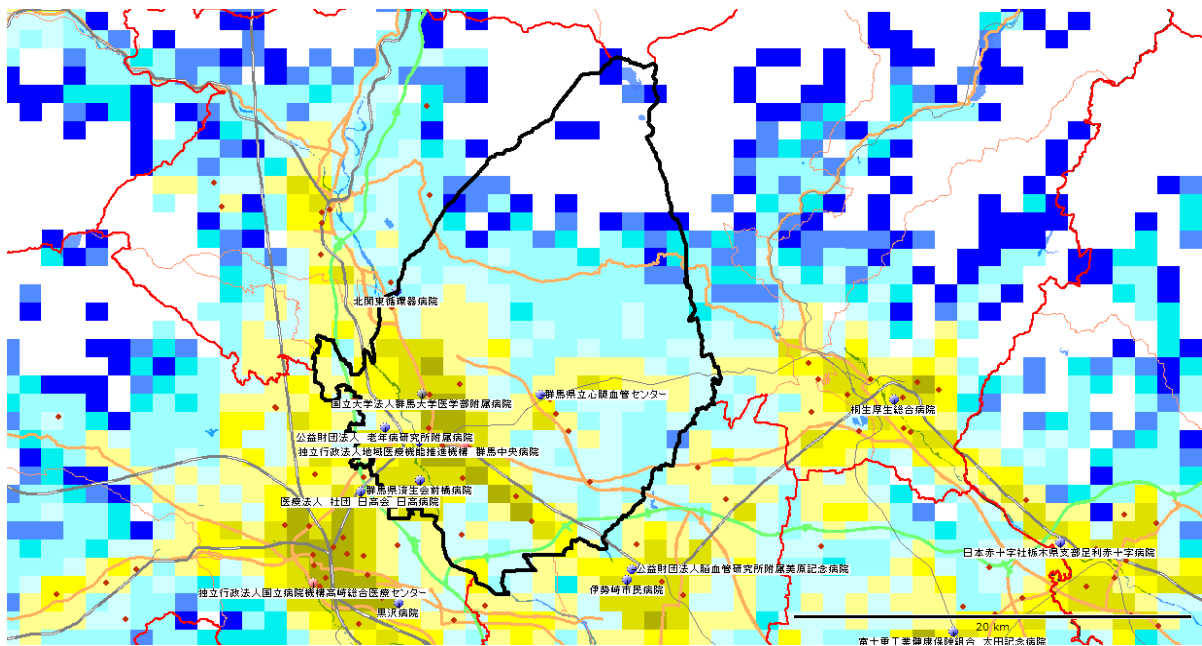
資_図表 10-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
群馬県	868	45	0.915	438	48	0.934	403	41	0.904
前橋	869	45	0.924	414	45	0.890	426	46	0.963
高崎・安中	888	46	0.935	448	49	0.954	413	43	0.921
渋川	893	47	0.931	489	53	1.027	379	35	0.841
藤岡	869	45	0.924	438	48	0.941	406	41	0.918
富岡	754	35	0.794	406	45	0.857	328	23	0.740
吾妻	849	43	0.907	505	55	1.078	326	22	0.749
沼田	920	49	0.967	534	58	1.121	365	32	0.824
伊勢崎	870	45	0.918	429	47	0.920	413	43	0.921
桐生	904	48	0.953	453	49	0.969	423	46	0.946
太田・館林	826	41	0.874	388	43	0.833	413	43	0.923
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

10-1. まえばし 前橋医療圏

構成市区町村⁹ [前橋市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(前橋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 前橋(前橋市)は、総人口約336千人(2015年)、面積312km²、人口密度は1079人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 前橋の総人口は2025年に318千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に280千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の45千人が、2025年にかけて60千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には62千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 前橋の一人当たり医療費(国保)は337千円(偏差値49)、介護給付費は252千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 前橋の一人当たり急性期医療密度指数²は1.04、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.78で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が70(病院医師数73、診療所医師数59)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は72と非常に多い。前橋には、年間全身麻酔件数が2000例以上の前橋赤十字病院(Ⅱ群・救命)、群馬大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の済生会前橋病院(Ⅲ群)、JCHO群馬中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 前橋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4545人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2679床(偏差値49)、高齢者住宅等が1866床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3565人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値71と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、594人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-33%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(前橋医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

前橋医療圏の総人口は、2005年340904人が、2015年に336154人と1%減少し、2025年の人口が317897人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

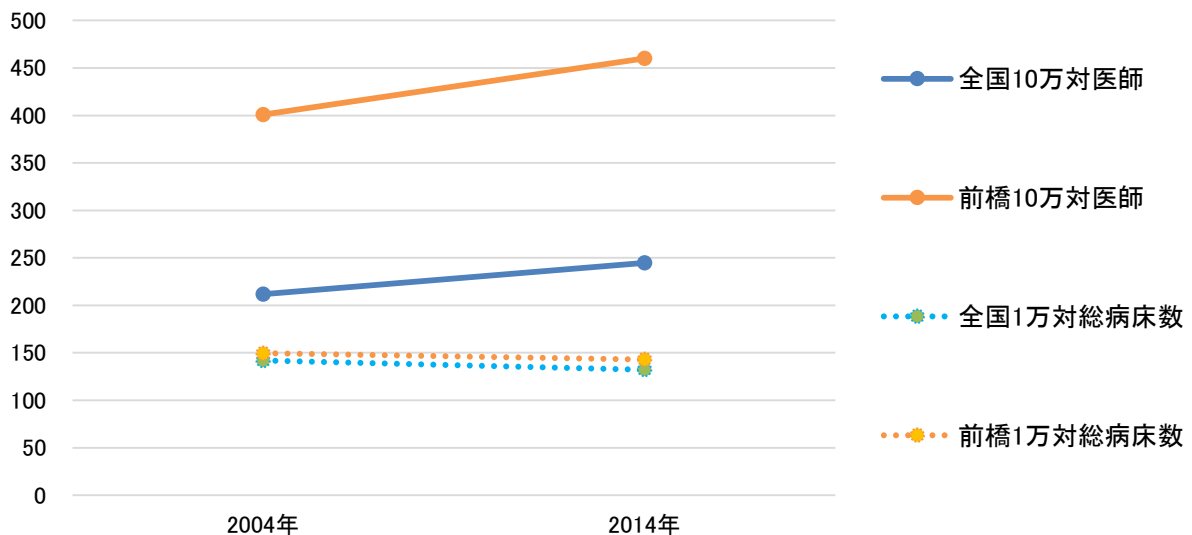
2004年の病院数が23(人口10万人当たり6.7病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に20(人口10万人当たり5.9病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が355(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2014年に339(人口10万人当たり101診療所(全国平均79)偏差値62)と、16診療所が減少した。

2004年の総病床数が5099床(人口1万人当たり150(全国平均142)偏差値51)であったが、2014年に4806床(人口1万人当たり143(全国平均132)偏差値52)と、293床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

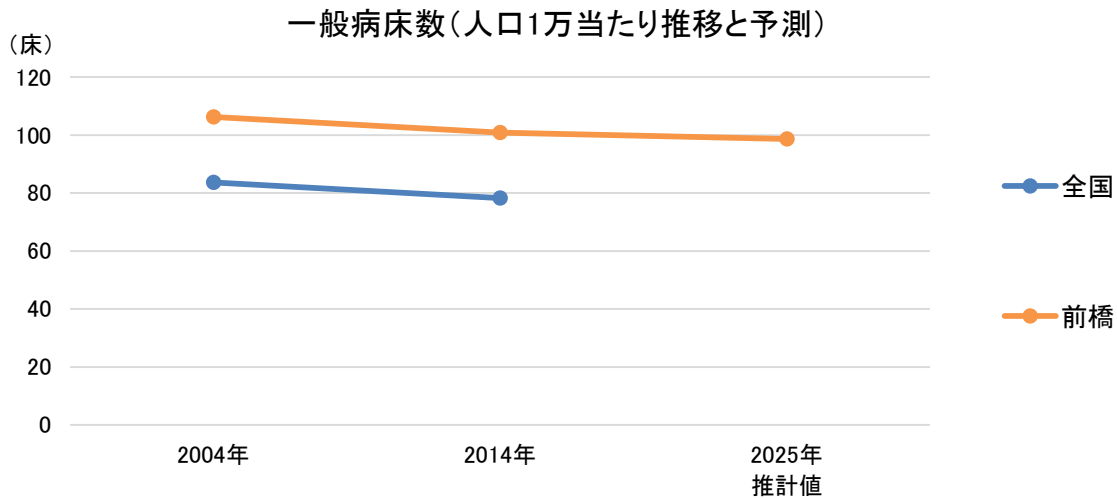
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1367人(人口10万人当たり401人(全国平均212人)偏差値73)であったが、2014年に1547人(人口10万人当たり460人(全国平均245人)偏差値73)と、180人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



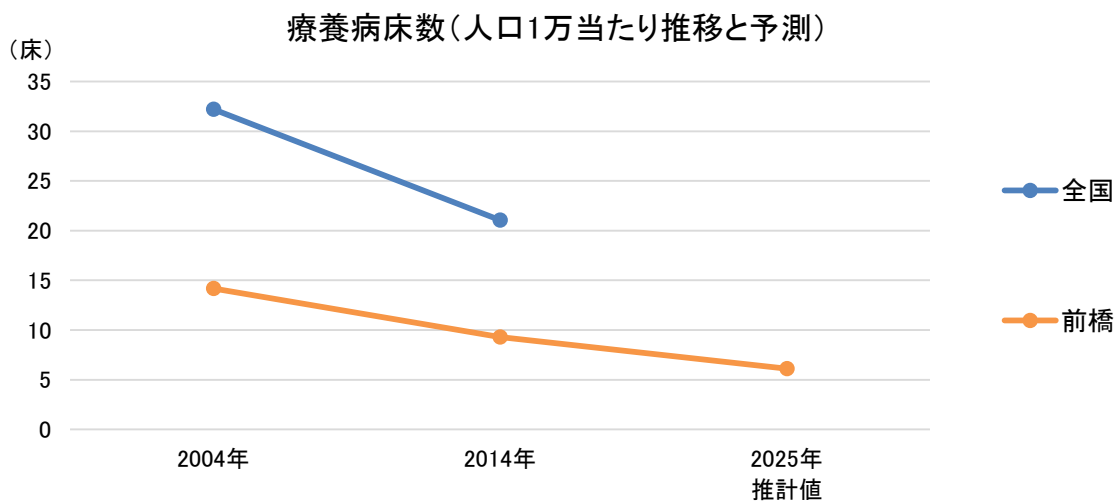
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3622床(人口1万人当たり106(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に3391床(人口1万人当たり101(全国平均78)偏差値58)と、231床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3137床(2025年の推計人口1万人当たり99)になることが予想される。



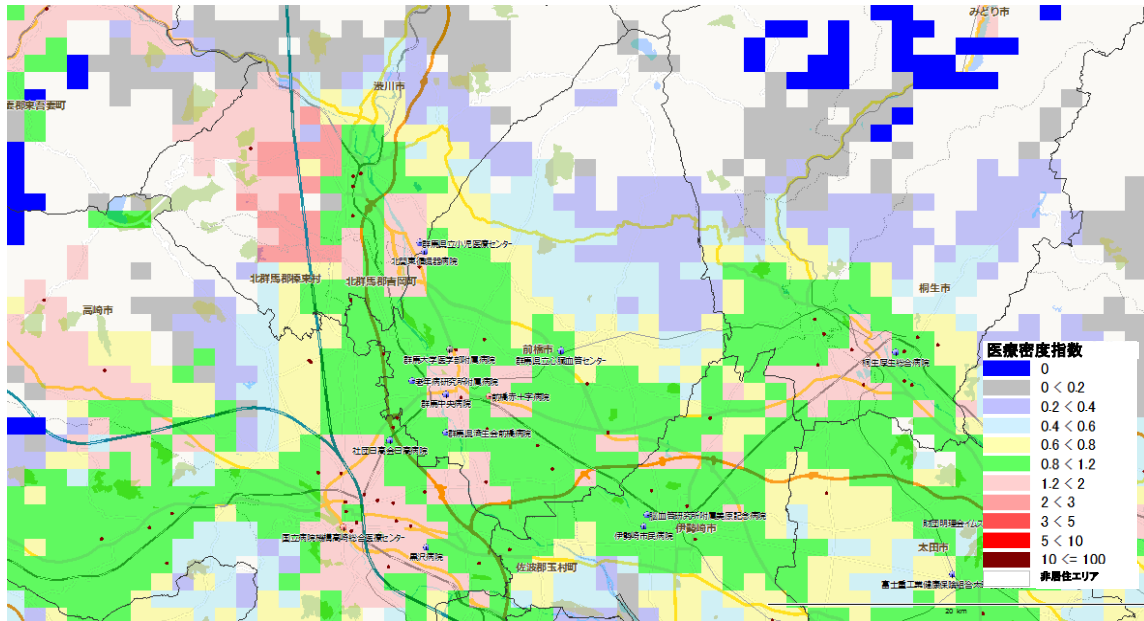
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が459床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に415床(75歳以上1000人当たり9(全国平均21)偏差値40)と、44床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には367床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



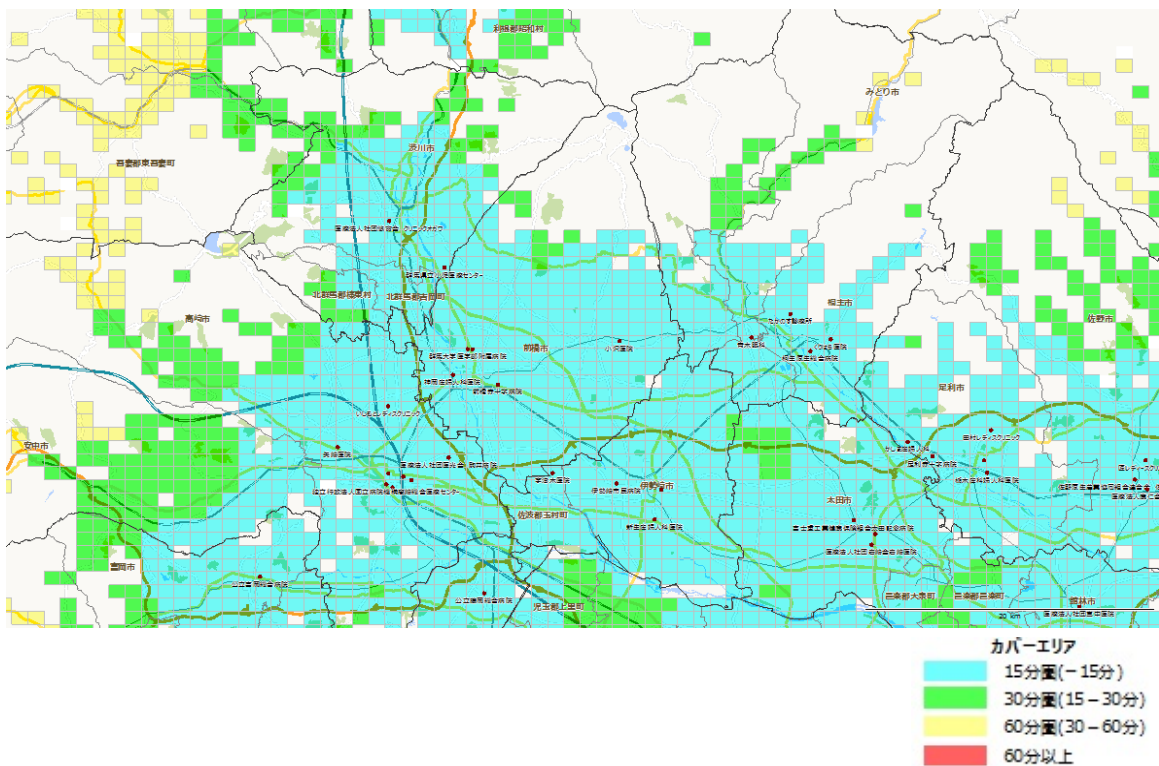
(前橋医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

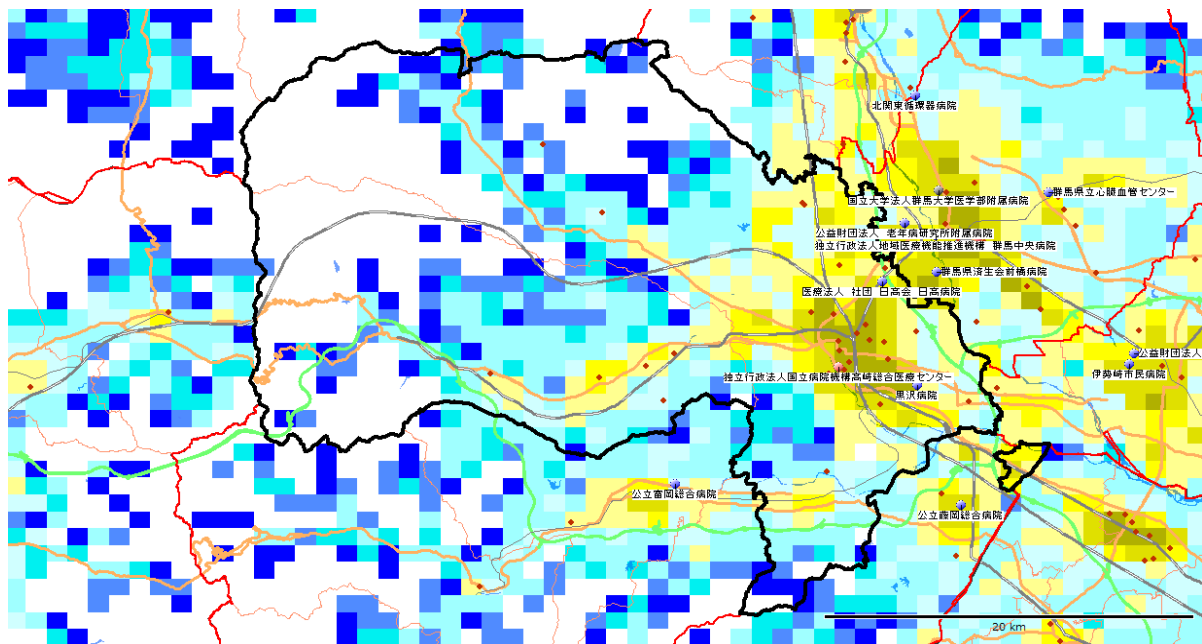


10-2. たかさき あんなか 高崎・安中医療圏

構成市区町村⁹ [高崎市](#)

[安中市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(高崎・安中医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高崎・安中(高崎市)は、総人口約429千人(2015年)、面積735km²、人口密度は584人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高崎・安中の総人口は2025年に414千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に374千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の56千人が、2025年にかけて77千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には77千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高崎・安中の一人当たり医療費(国保)は330千円(偏差値47)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高崎・安中の一人当たり急性期医療密度指数²は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.87で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数42、診療所医師数59)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。高崎・安中には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国立病院機構高崎総合医療センター(Ⅱ群・救命)、500例以上の日高病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高崎・安中の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6239人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3632床(偏差値53)、高齢者住宅等が2607床(偏差値53)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5029人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム52、サ高住60である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、635人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-24%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(高崎・安中医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

高崎・安中医療圏の総人口は、2005年428098人が、2015年に429415人と1%未満増加し、2025年の人口が413783人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

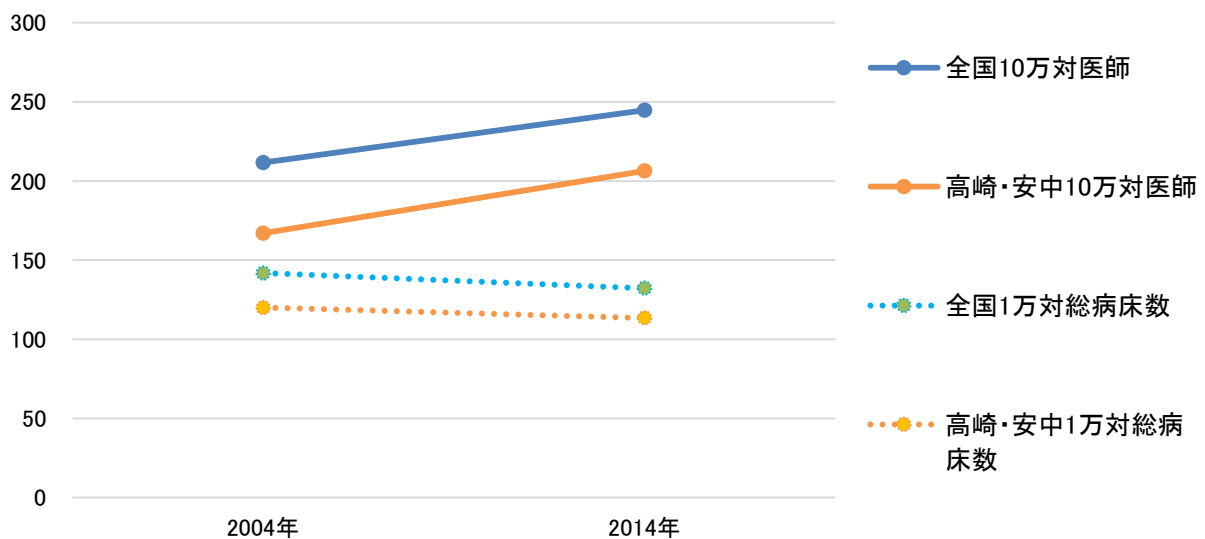
2004年の病院数が37(人口10万人当たり8.6病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に31(人口10万人当たり7.2病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が354(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に385(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、31診療所が増加した。

2004年の総病床数が5138床(人口1万人当たり120(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に4871床(人口1万人当たり113(全国平均132)偏差値47)と、267床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

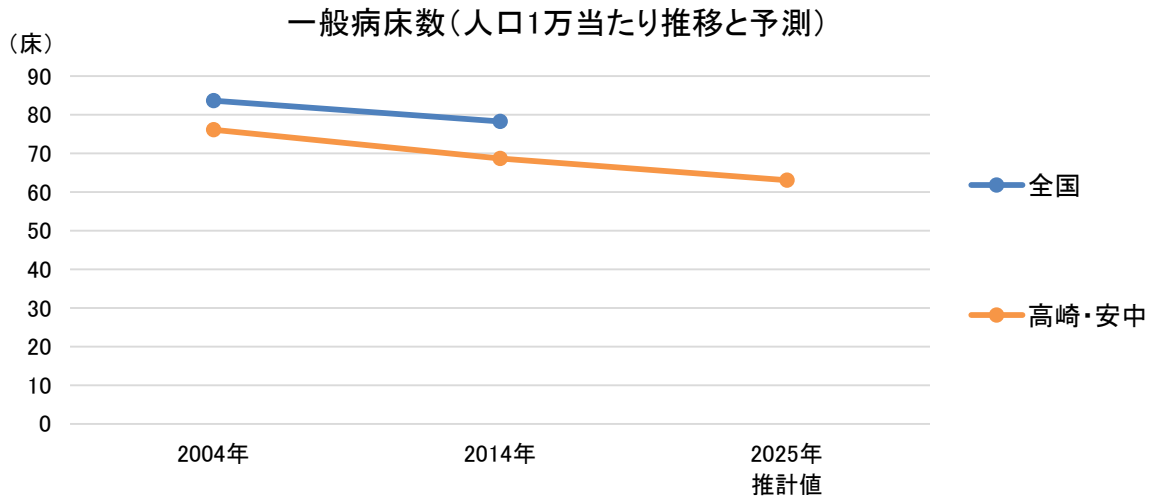
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が715人(人口10万人当たり167人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に886人(人口10万人当たり206人(全国平均245人)偏差値46)と、171人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



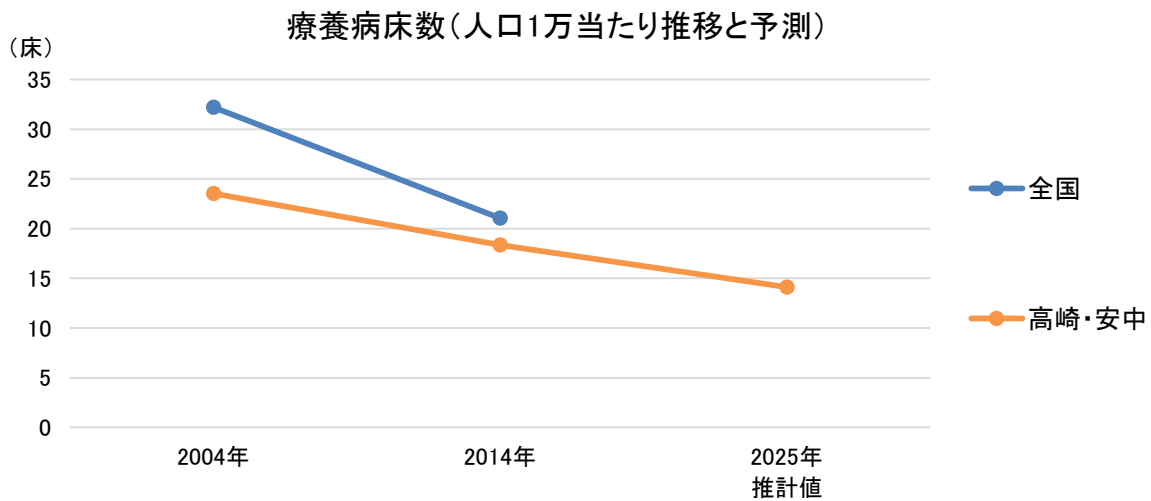
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3258床(人口1万人当たり76(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に2950床(人口1万人当たり69(全国平均78)偏差値46)と、308床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2611床(2025年の推計人口1万人当たり63)になることが予想される。



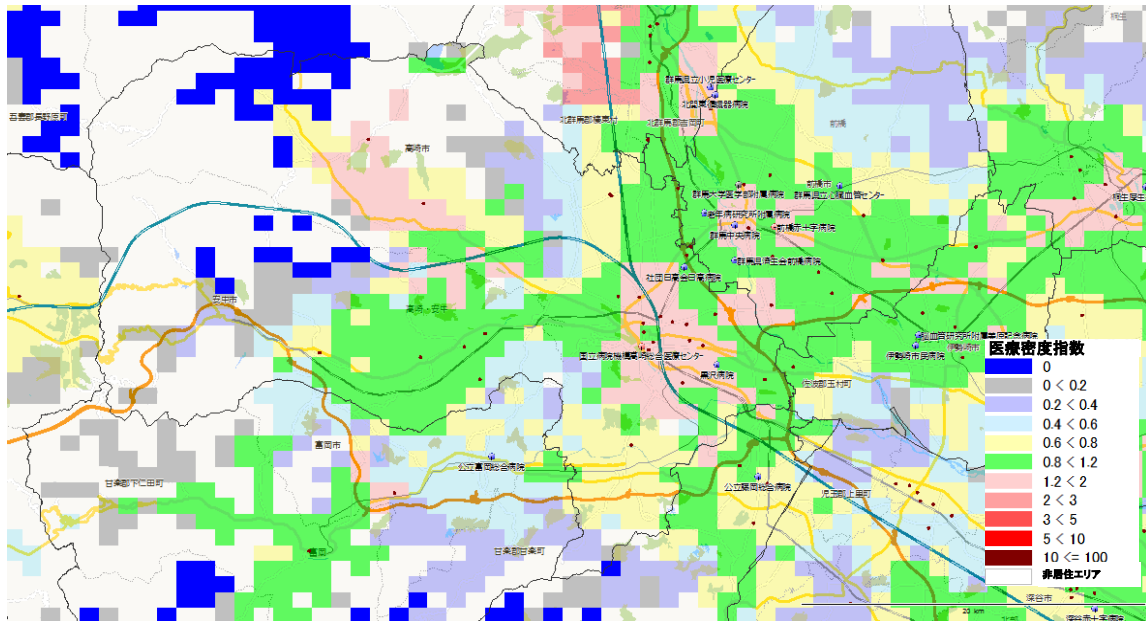
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が972床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に1023床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、51床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1079床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



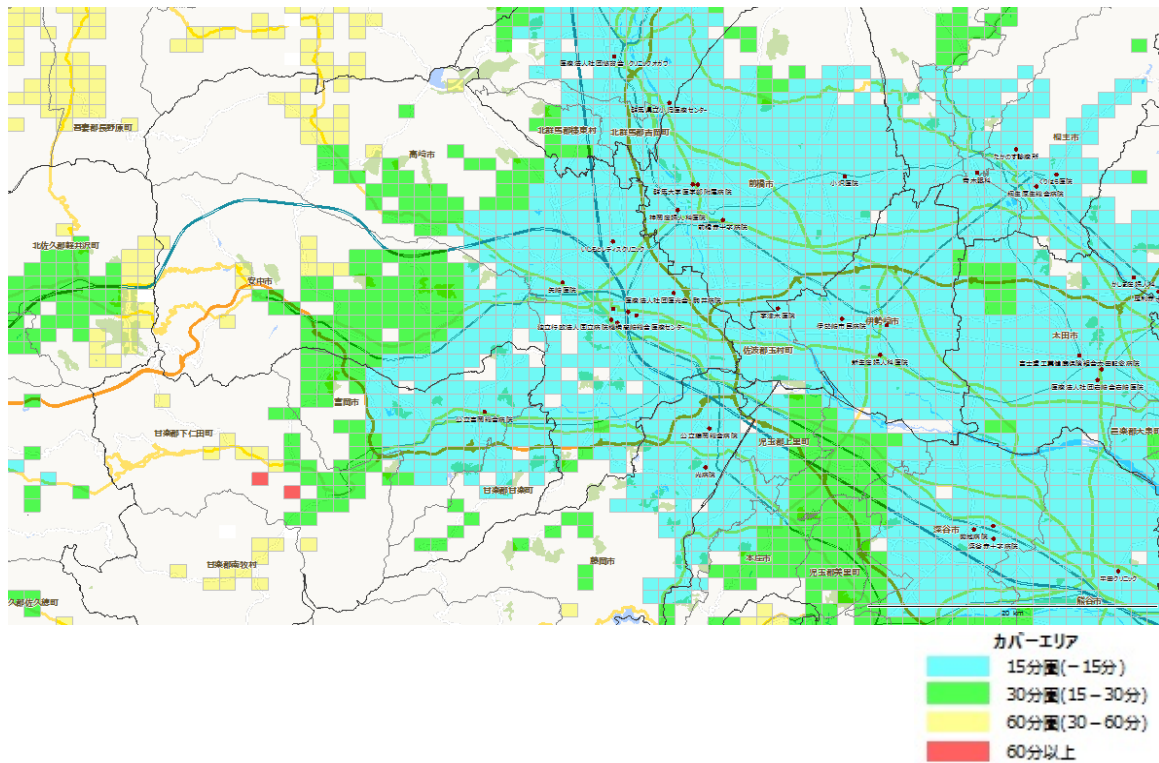
(高崎・安中医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

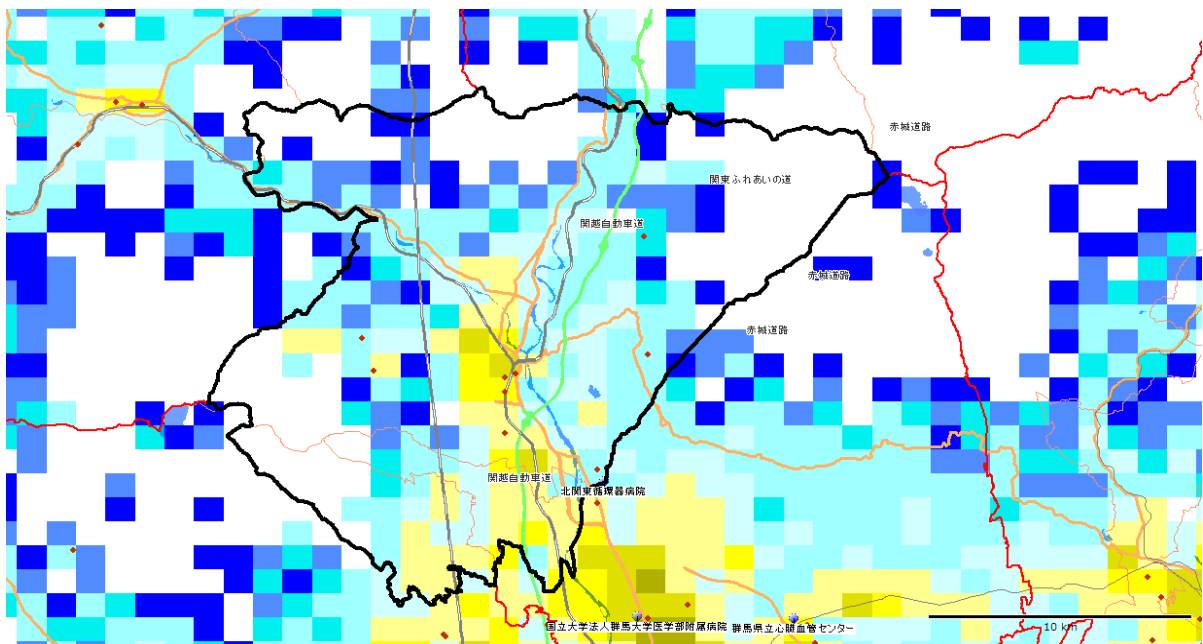
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



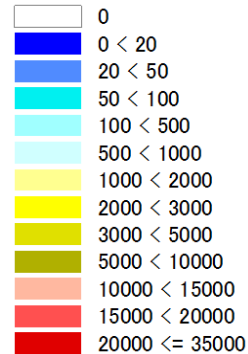
10-3. しぶかわ 渋川医療圏

構成市区町村⁹ [渋川市](#) [榛東村](#) [吉岡町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(渋川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 渋川(渋川市)は、総人口約114千人(2015年)、面積289km²、人口密度は394人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 渋川の総人口は2025年に106千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に91千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には21千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 渋川の一人当たり医療費(国保)は336千円(偏差値48)、介護給付費は272千円(偏差値55)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 渋川の一人当たり急性期医療密度指数²は1.02、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.53で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数49、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。渋川には、年間全身麻酔件数が500例以上の群馬県立小児医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は77で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 渋川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1823人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1170床(偏差値60)、高齢者住宅等が653床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1423人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住61である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、160人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(渋川医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

渋川医療圏の総人口は、2005年119687人が、2015年に113800人と5%減少し、2025年の人口が106385人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

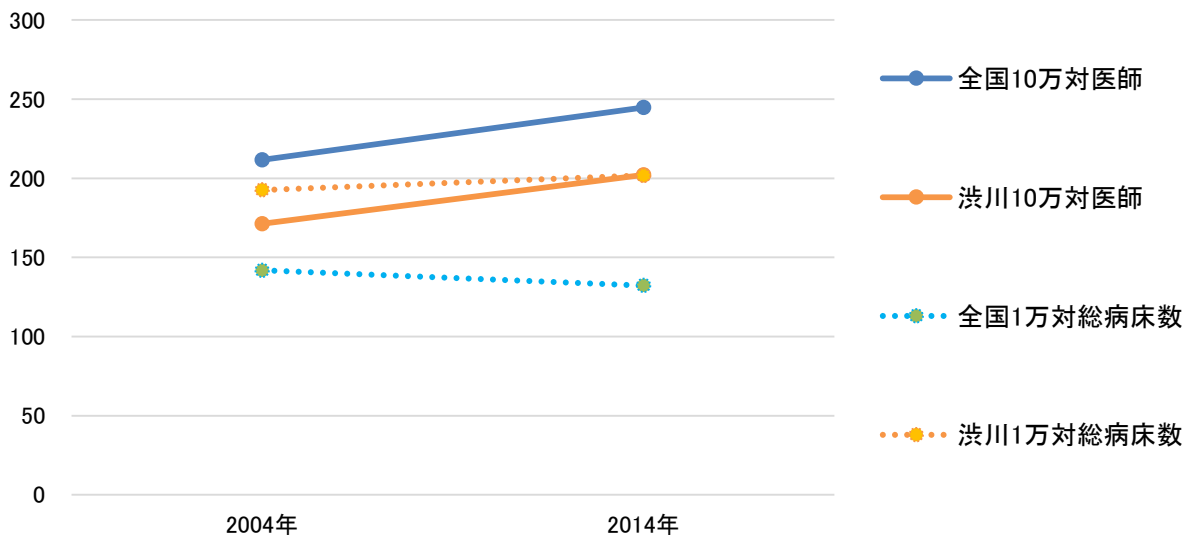
2004年の病院数が12(人口10万人当たり10病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に11(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が72(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に76(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値43)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が2306床(人口1万人当たり193(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に2297床(人口1万人当たり202(全国平均132)偏差値62)と、9床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

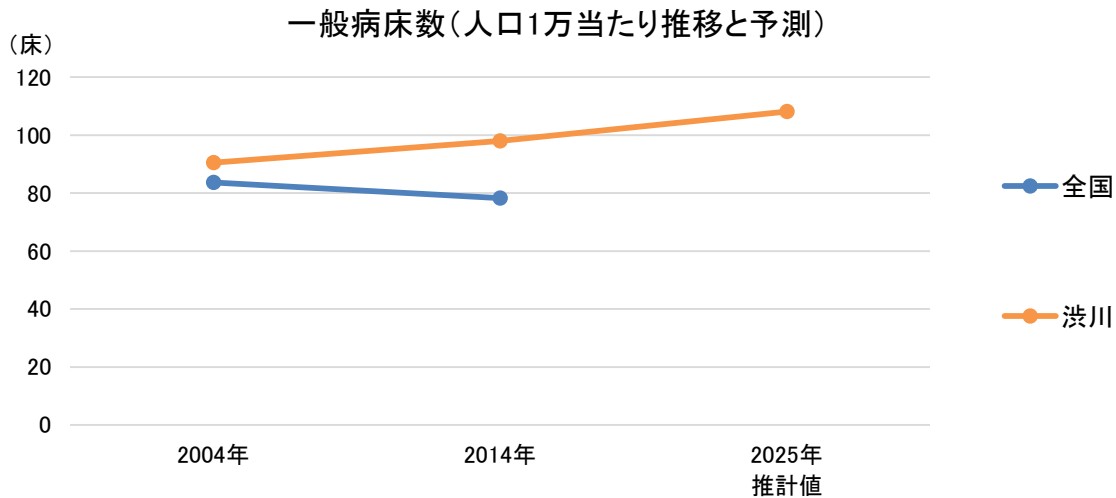
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が205人(人口10万人当たり171人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に230人(人口10万人当たり202人(全国平均245人)偏差値45)と、25人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



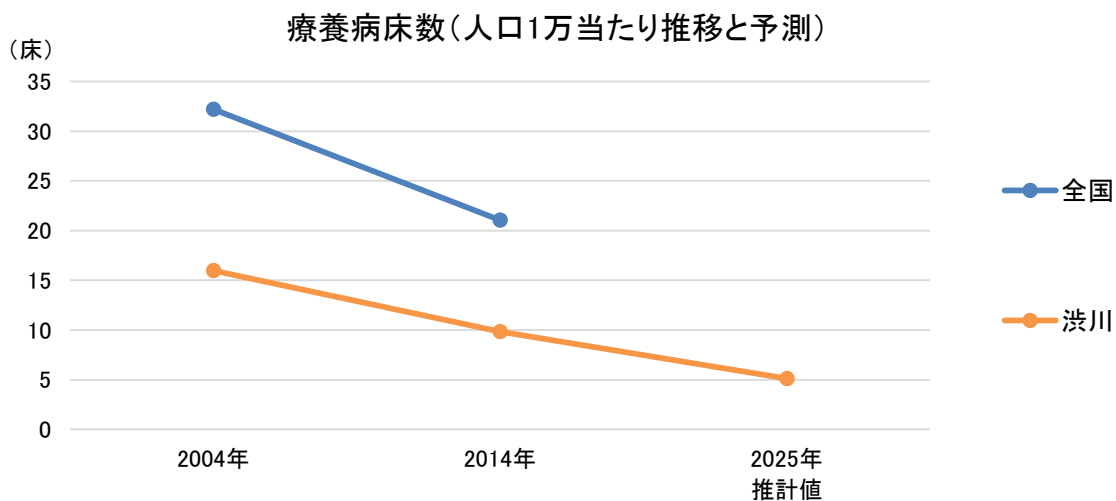
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1083床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に1115床(人口1万人当たり98(全国平均78)偏差値57)と、32床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1150床(2025年の推計人口1万人当たり108)になることが予想される。



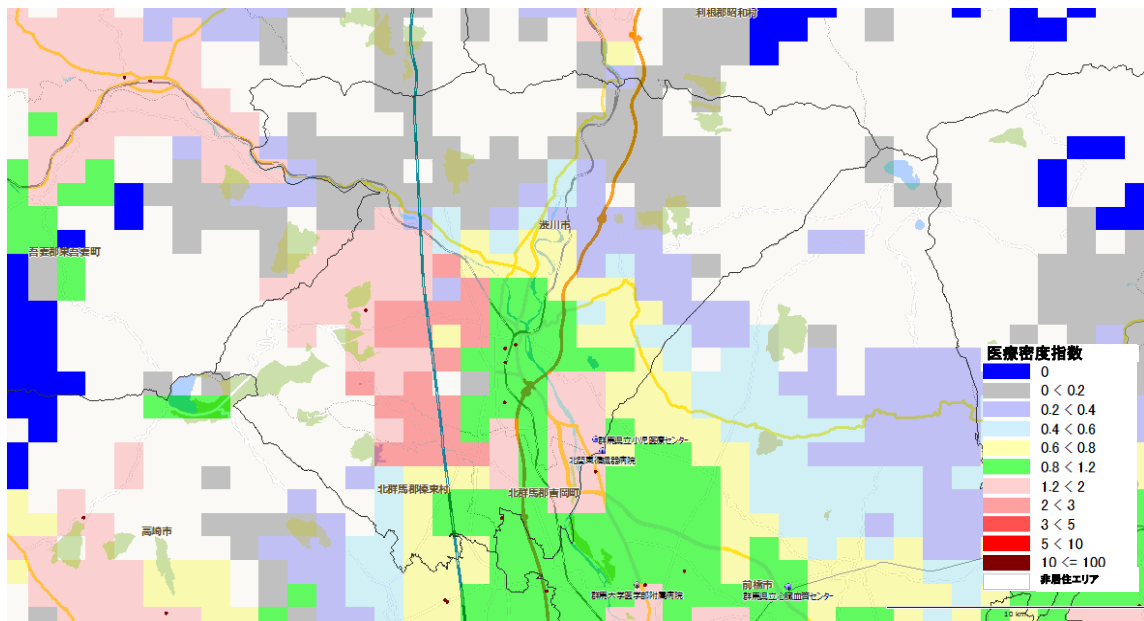
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が200床(75歳以上1000人当たり16(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に155床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値40)と、45床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には106床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。



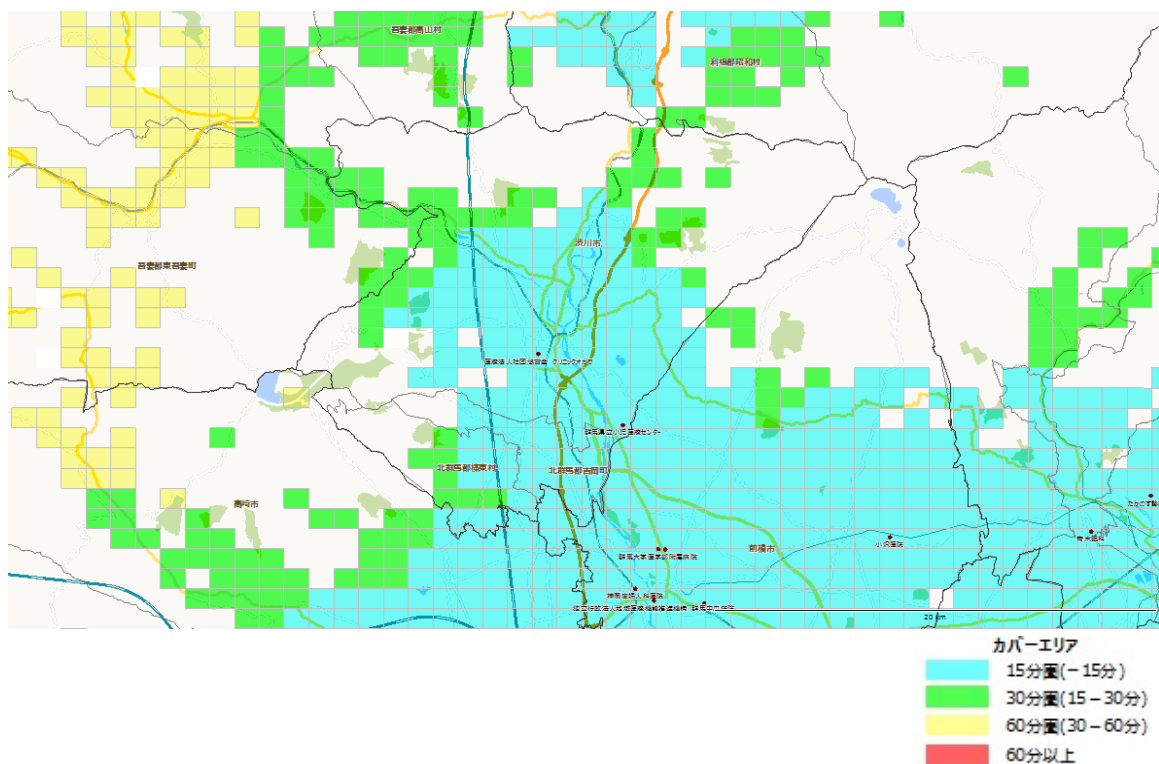
(渋川医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

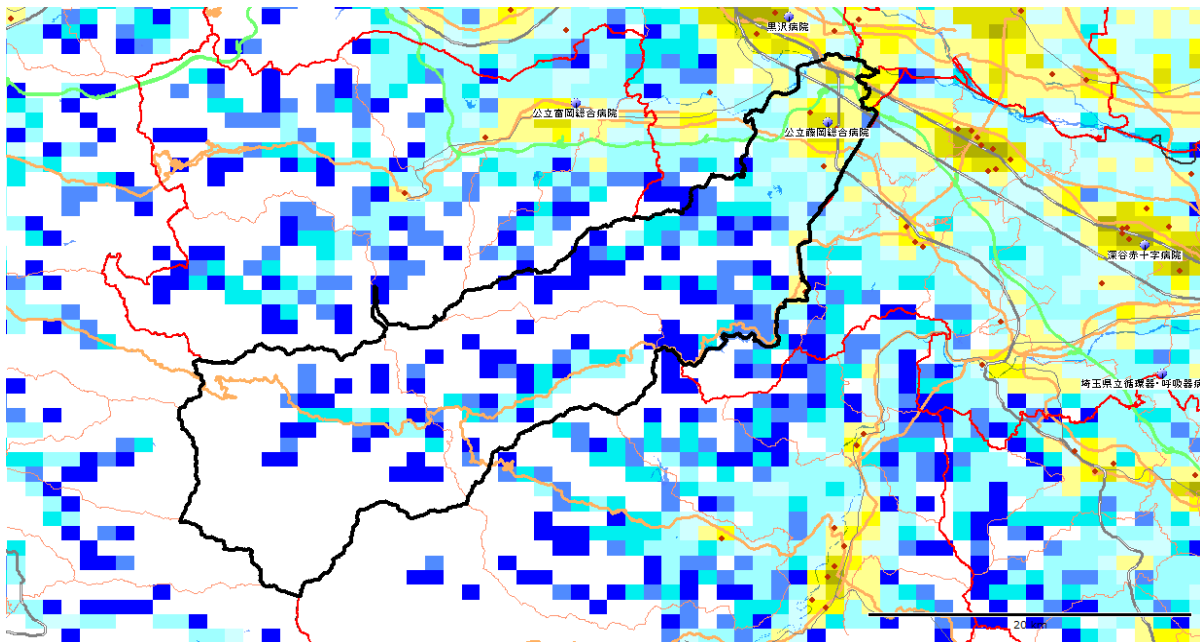
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



10-4. ふじおか 藤岡医療圏

構成市区町村⁹ [藤岡市](#) [上野村](#) [神流町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(藤岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 藤岡(藤岡市)は、総人口約69千人(2015年)、面積477km²、人口密度は145人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 藤岡の総人口は2025年に64千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に53千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には13千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 藤岡の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値52)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 藤岡の一人当たり急性期医療密度指数²は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.66で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。藤岡には、年間全身麻酔件数が1000例以上の公立藤岡総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 藤岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1240人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が793床(偏差値65)、高齢者住宅等が447床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、768人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住67である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、98人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(藤岡医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

藤岡医療圏の総人口は、2005年73580人が、2015年に68892人と6%減少し、2025年の人口が63687人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

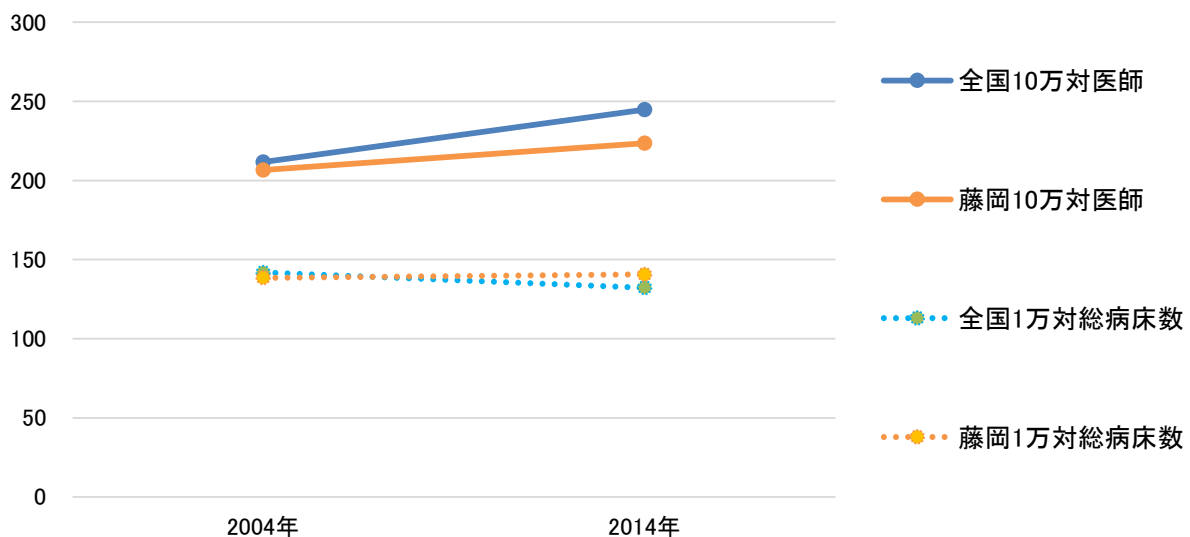
2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に5(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が48(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に50(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が1019床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に969床(人口1万人当たり141(全国平均132)偏差値51)と、50床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

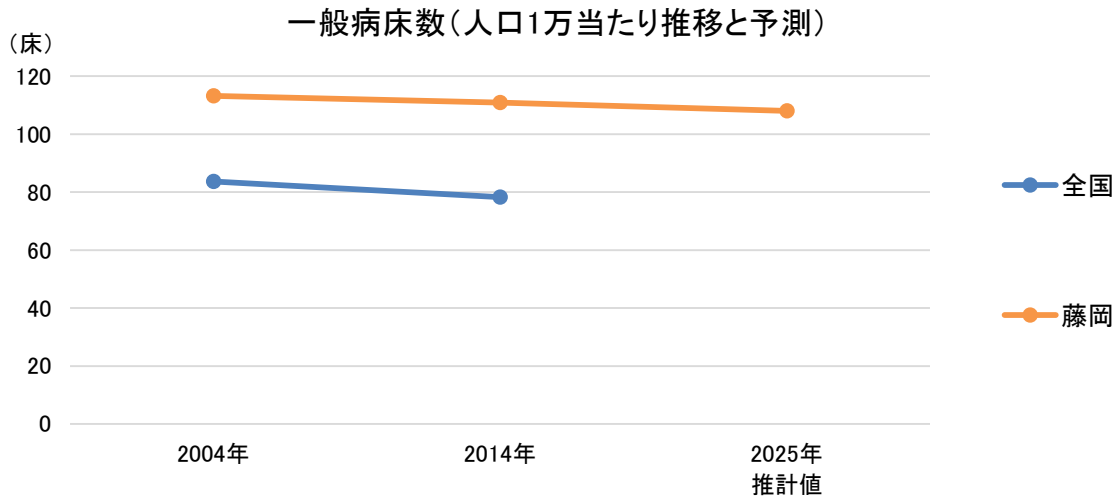
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が152人(人口10万人当たり207人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に154人(人口10万人当たり224人(全国平均245人)偏差値48)と、2人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



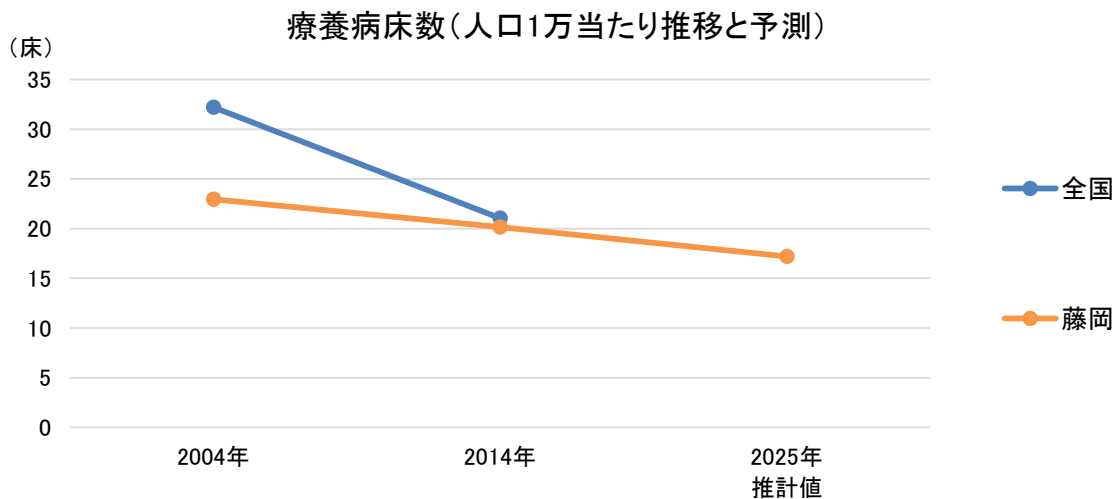
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が833床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に764床(人口1万人当たり111(全国平均78)偏差値62)と、69床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には688床(2025年の推計人口1万人当たり108)になることが予想される。



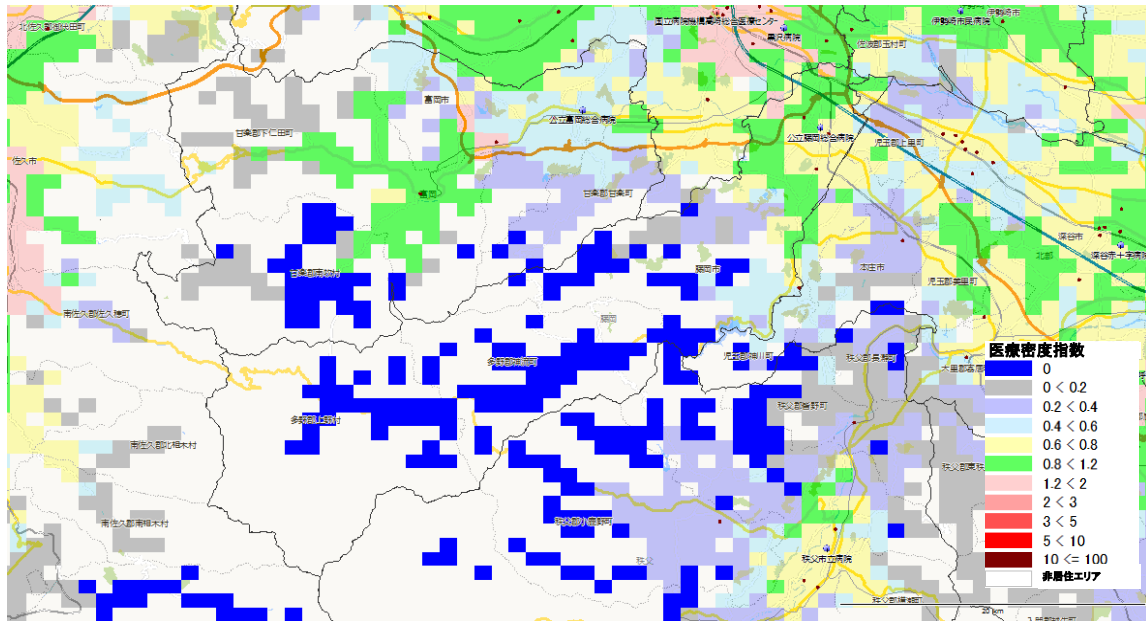
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が182床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に201床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、19床の増加、率にして10%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には222床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



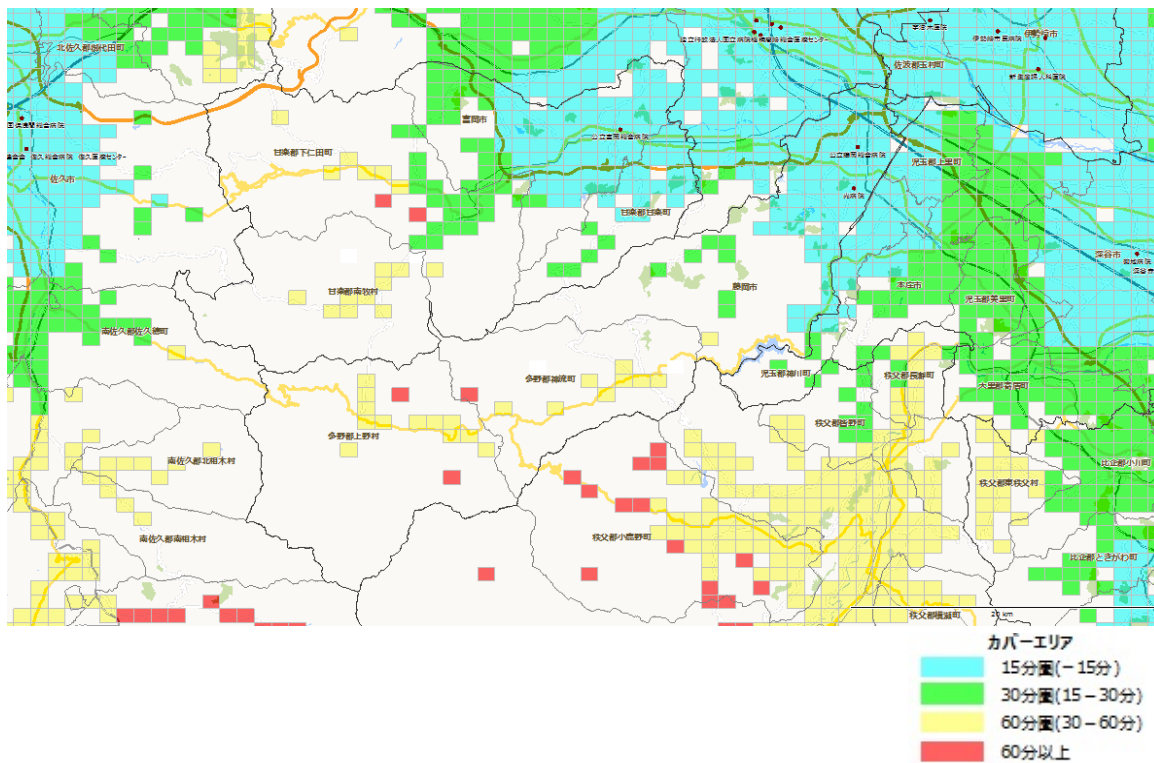
(藤岡医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

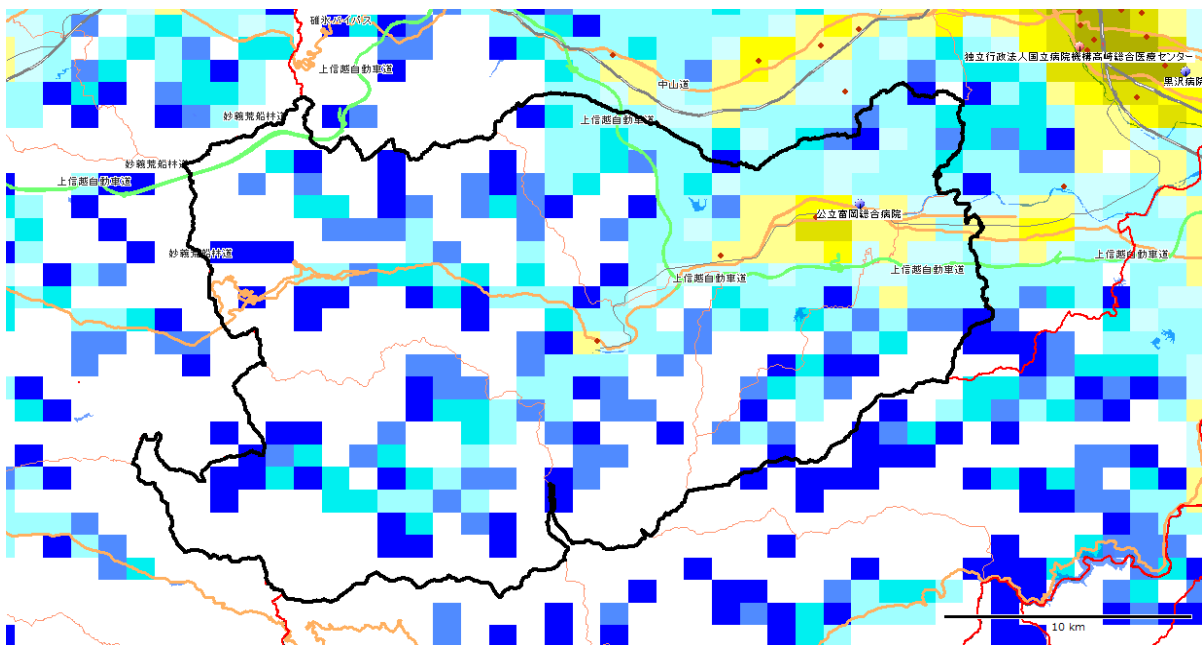
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



10-5. とみおか 富岡医療圏

構成市区町村⁹ [富岡市](#) [下仁田町](#) [南牧村](#) [甘楽町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(富岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富岡(富岡市)は、総人口約72千人(2015年)、面積489km²、人口密度は148人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 富岡の総人口は2025年に65千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に52千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて15千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には15千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富岡の一人当たり医療費(国保)は319千円(偏差値44)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富岡の一人当たり急性期医療密度指数2は0.63、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.02で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が48(病院医師数48、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は58と多い。富岡には、年間全身麻酔件数が1000例以上の公立富岡総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1579人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1145床(偏差値73)、高齢者住宅等が434床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1123人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設65、有料老人ホーム43、軽費ホーム51、グループホーム53、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、68人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(富岡医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

富岡医療圏の総人口は、2005年81151人が、2015年に72489人と11%減少し、2025年の人口が64815人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

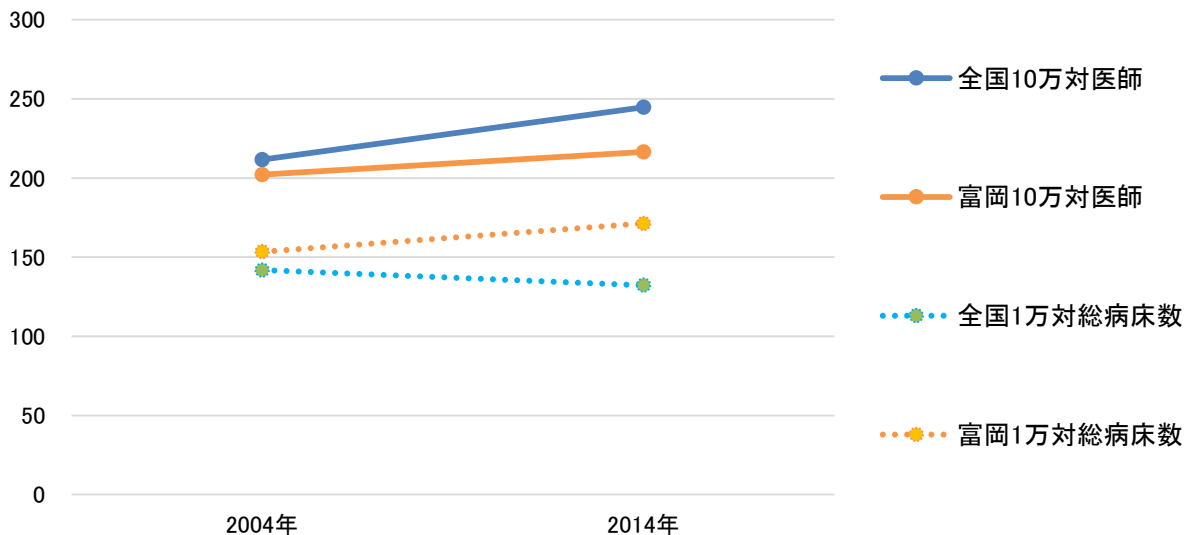
2004年の病院数が5(人口10万人当たり6.2病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に4(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が57(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に60(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が1245床(人口1万人当たり153(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に1242床(人口1万人当たり171(全国平均132)偏差値57)と、3床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

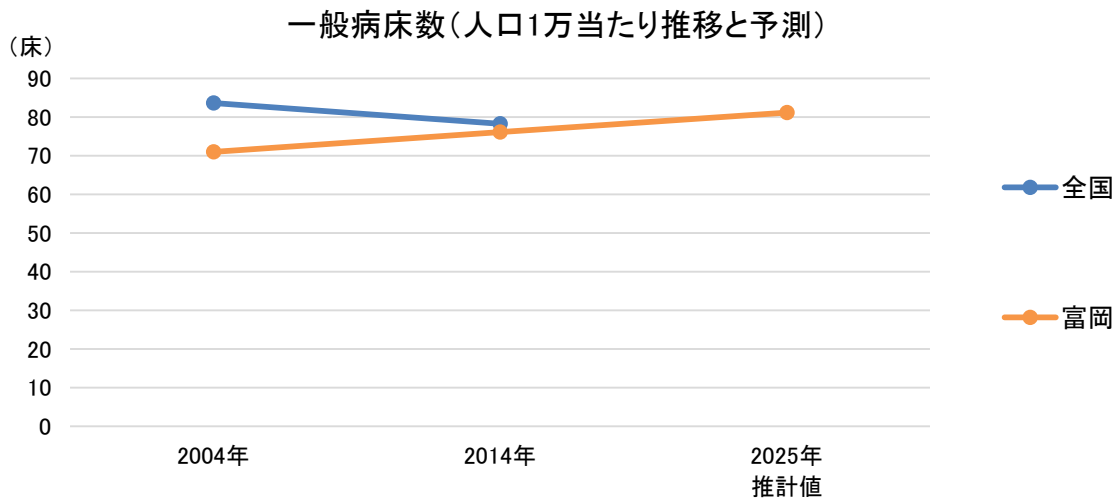
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が164人(人口10万人当たり202人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に157人(人口10万人当たり217人(全国平均245人)偏差値47)と、7人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



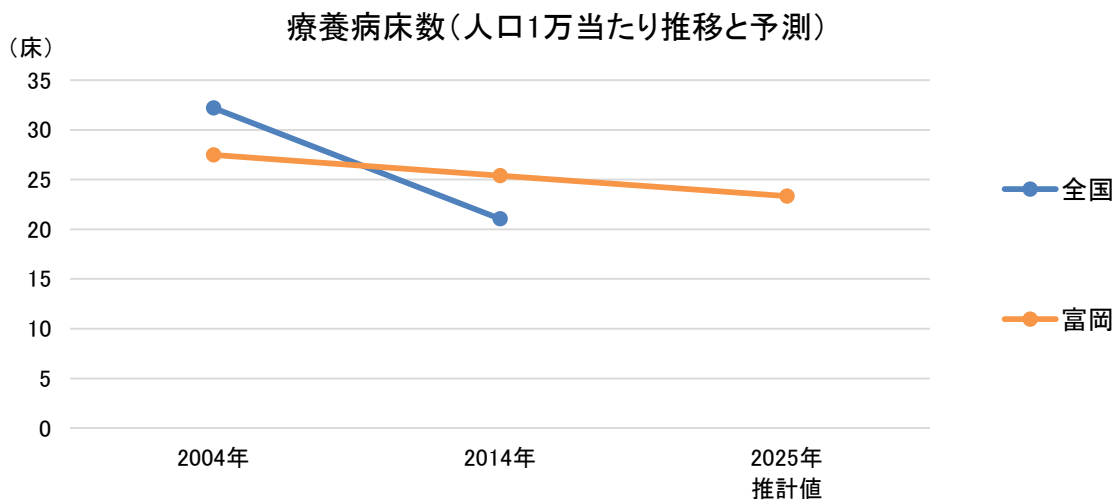
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が576床(人口1万人当たり71(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に552床(人口1万人当たり76(全国平均78)偏差値49)と、24床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には526床(2025年の推計人口1万人当たり81)になることが予想される。



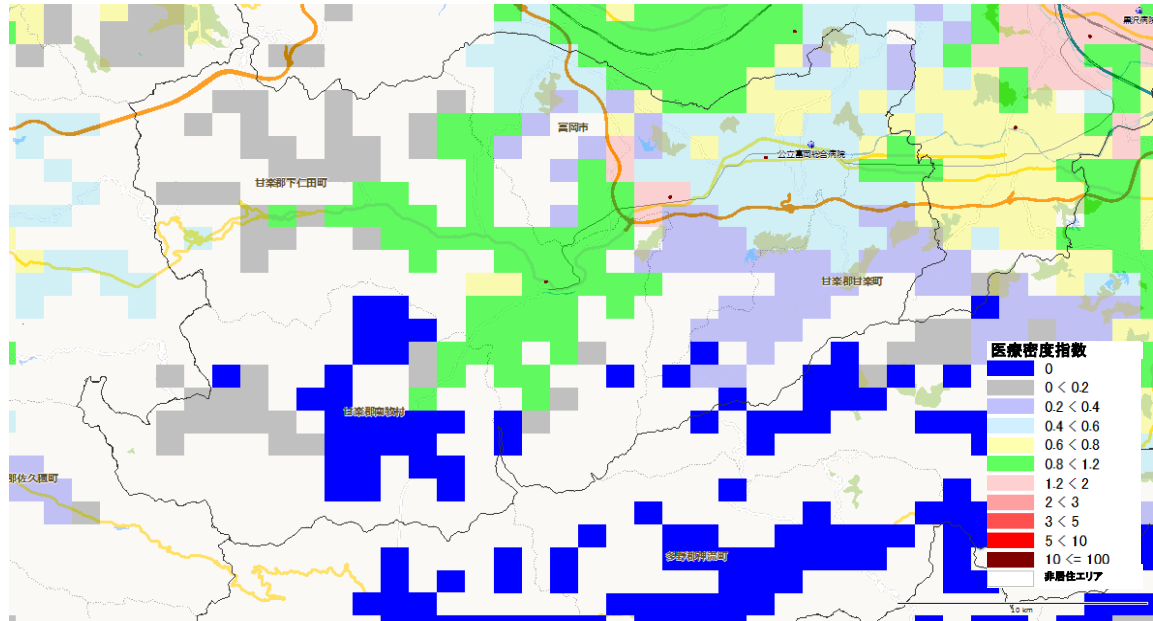
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が305床(75歳以上1000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に326床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、21床の増加、率にして7%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には349床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。



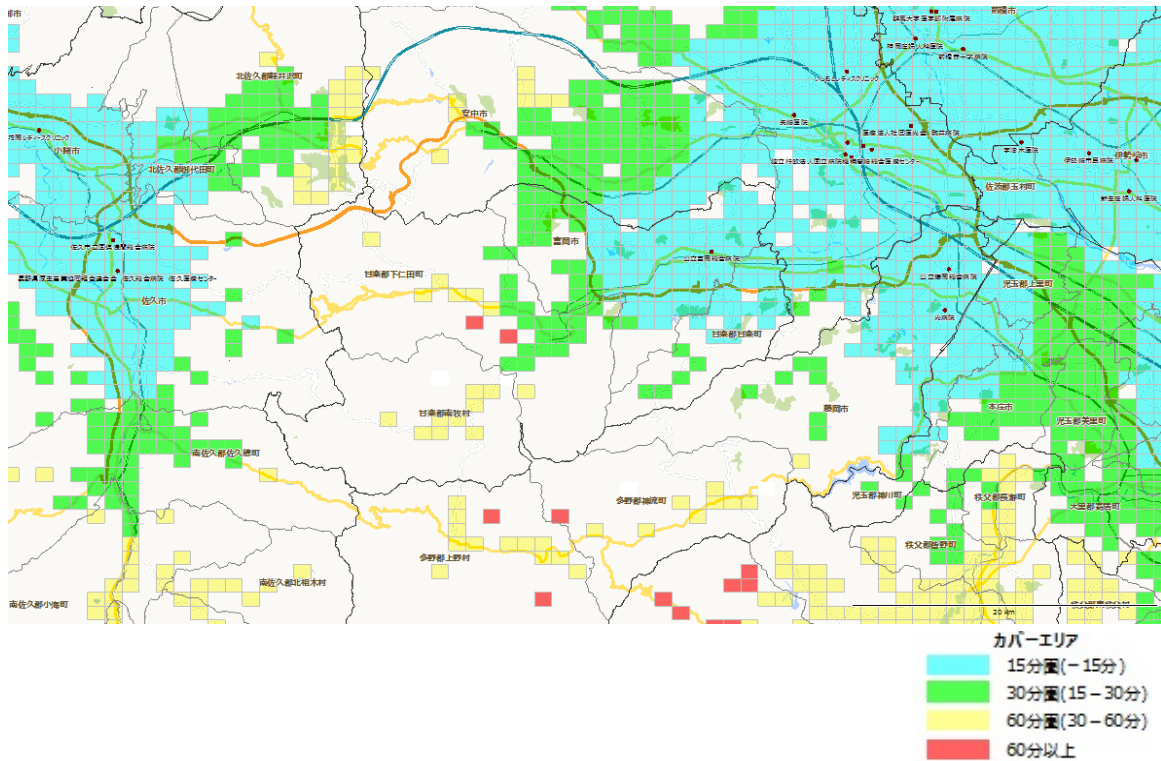
(富岡医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

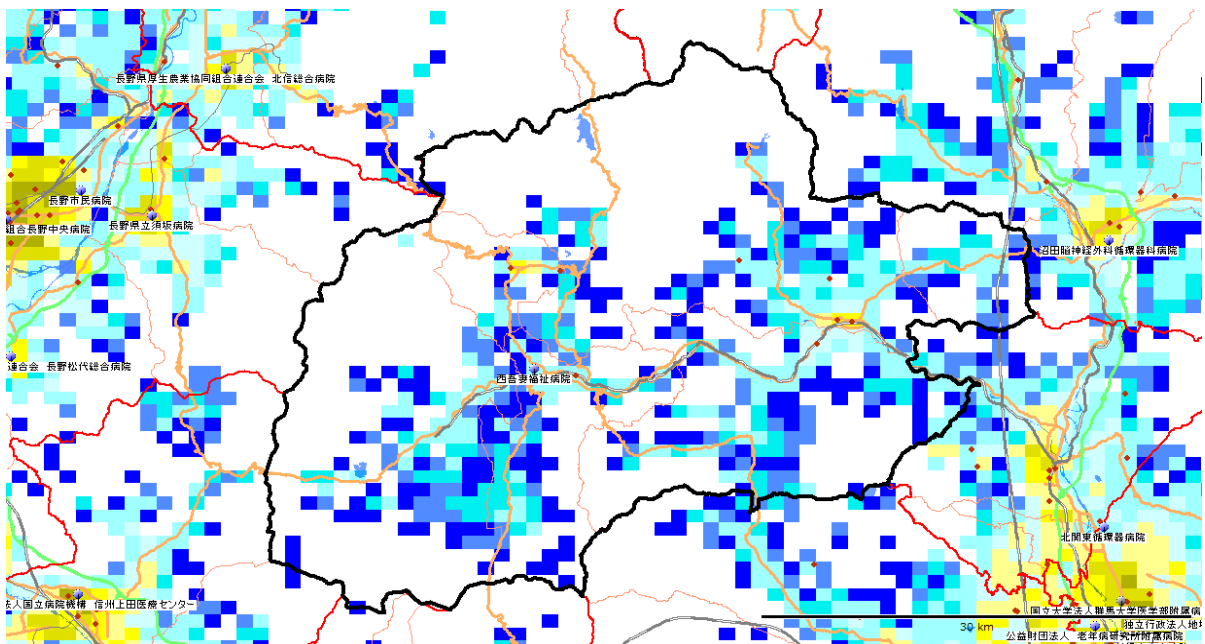
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



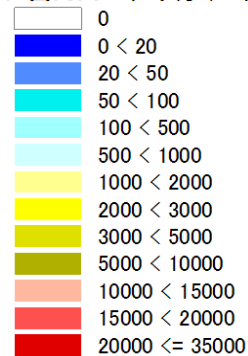
10-6. あづま 吾妻医療圏

構成市区町村⁹ [中之条町](#) [長野原町](#) [嬭恋村](#) [草津町](#)
[高山村](#) [東吾妻町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(吾妻医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 吾妻(吾妻郡中之条町)は、総人口約56千人(2015年)、面積1279km²、人口密度は44人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 吾妻の総人口は2025年に49千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に38千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には12千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 吾妻の一人当たり医療費(国保)は337千円(偏差値49)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 吾妻の一人当たり急性期医療密度指数²は0.6、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.13で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数44、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は80で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。吾妻には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は79と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値80と非常に多く、回復期病床数は偏差値96と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 吾妻の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、987人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が673床(偏差値50)、高齢者住宅等が314床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、706人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、60人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(吾妻医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

吾妻医療圏の総人口は、2005年65619人が、2015年に56391人と14%減少し、2025年の人口が49068人と予測され、2005年→2025年の間に25%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

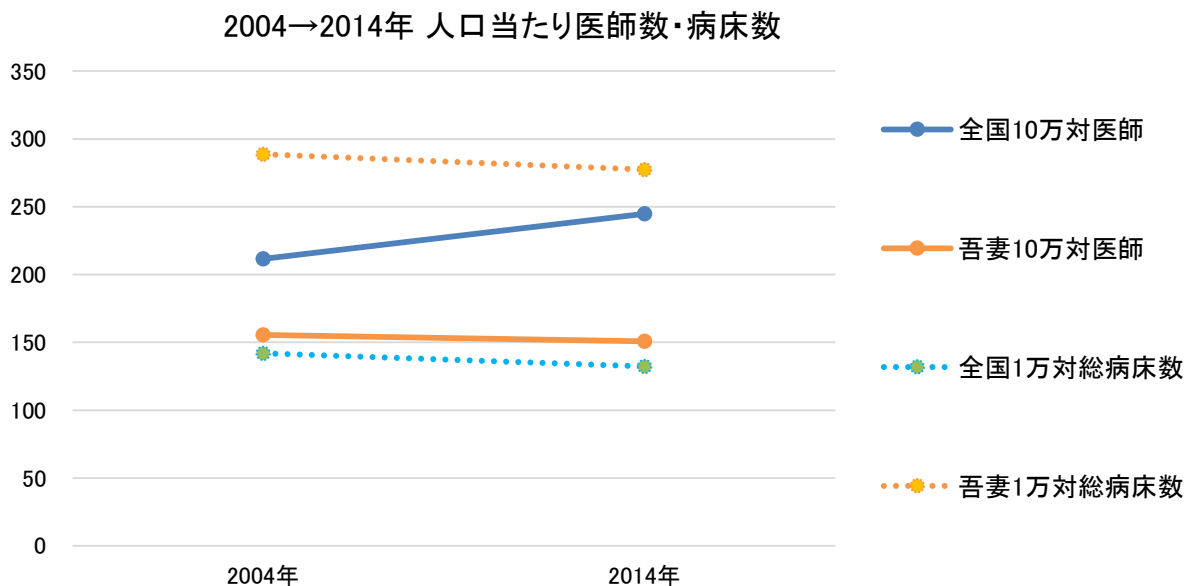
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に9(人口10万人当たり16病院(全国平均6.7)偏差値72)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が37(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に34(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、3診療所が減少した。

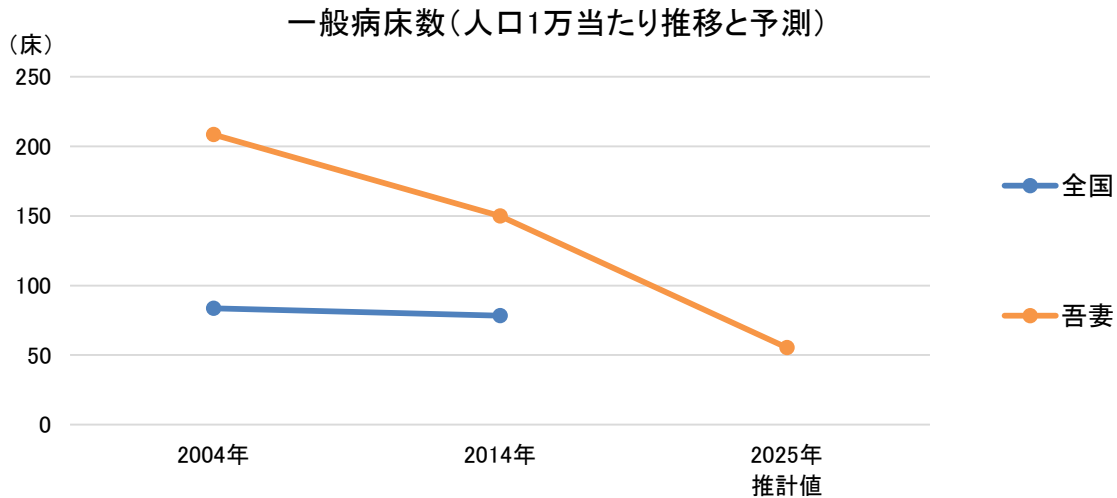
2004年の総病床数が1894床(人口1万人当たり289(全国平均142)偏差値76)であったが、2014年に1564床(人口1万人当たり277(全国平均132)偏差値76)と、330床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が102人(人口10万人当たり155人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に85人(人口10万人当たり151人(全国平均245人)偏差値40)と、17人の減少、率にして17%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



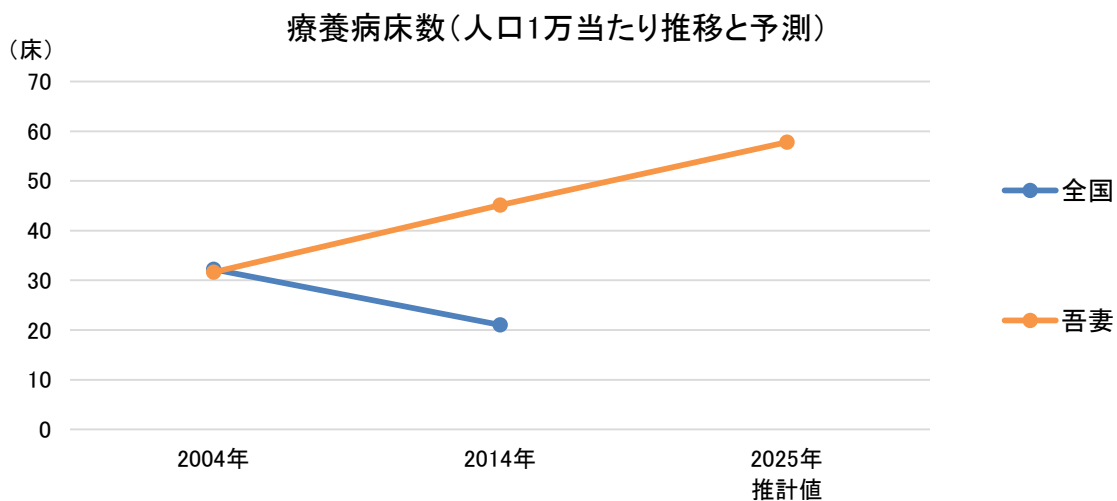
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1368床(人口1万人当たり208(全国平均84)偏差値94)であったが、2014年に846床(人口1万人当たり150(全国平均78)偏差値76)と、522床の減少、率にして38%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には272床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



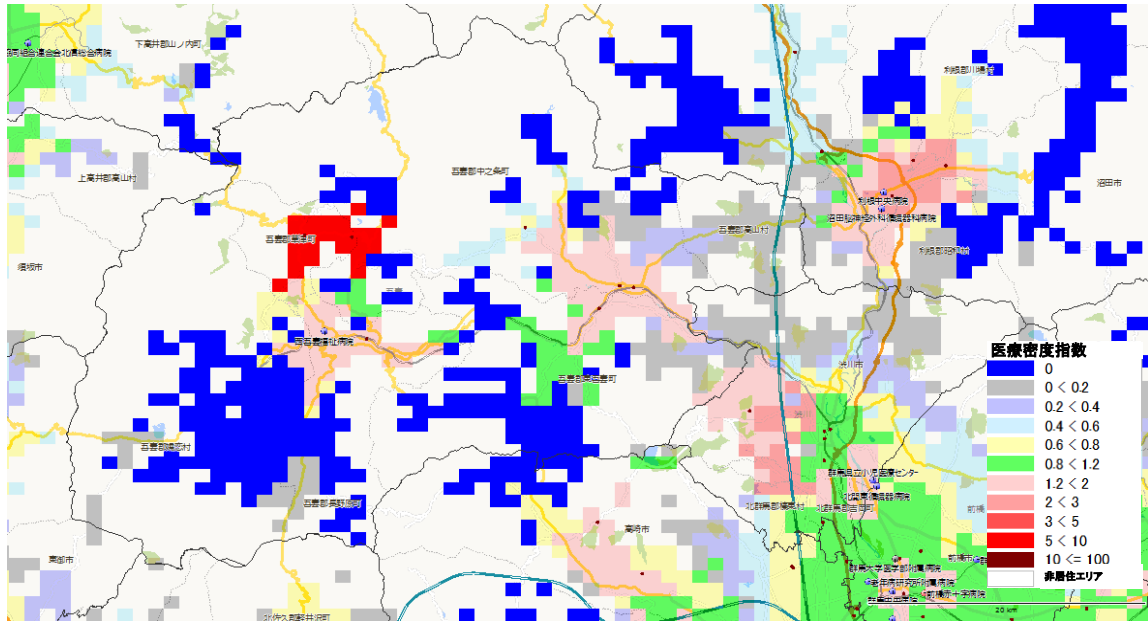
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が299床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に491床(75歳以上1000人当たり45(全国平均21)偏差値70)と、192床の増加、率にして64%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には702床(2025年の推計75歳以上1000人当たり58)になることが予想される。



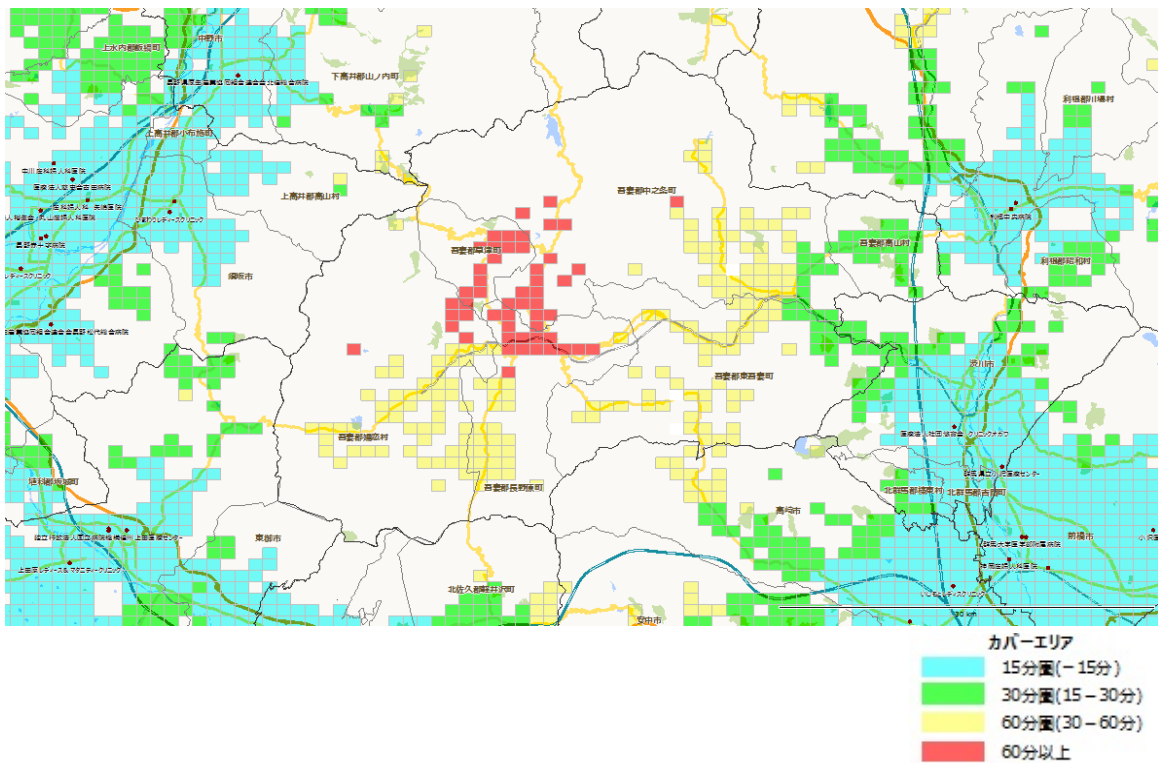
(吾妻医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

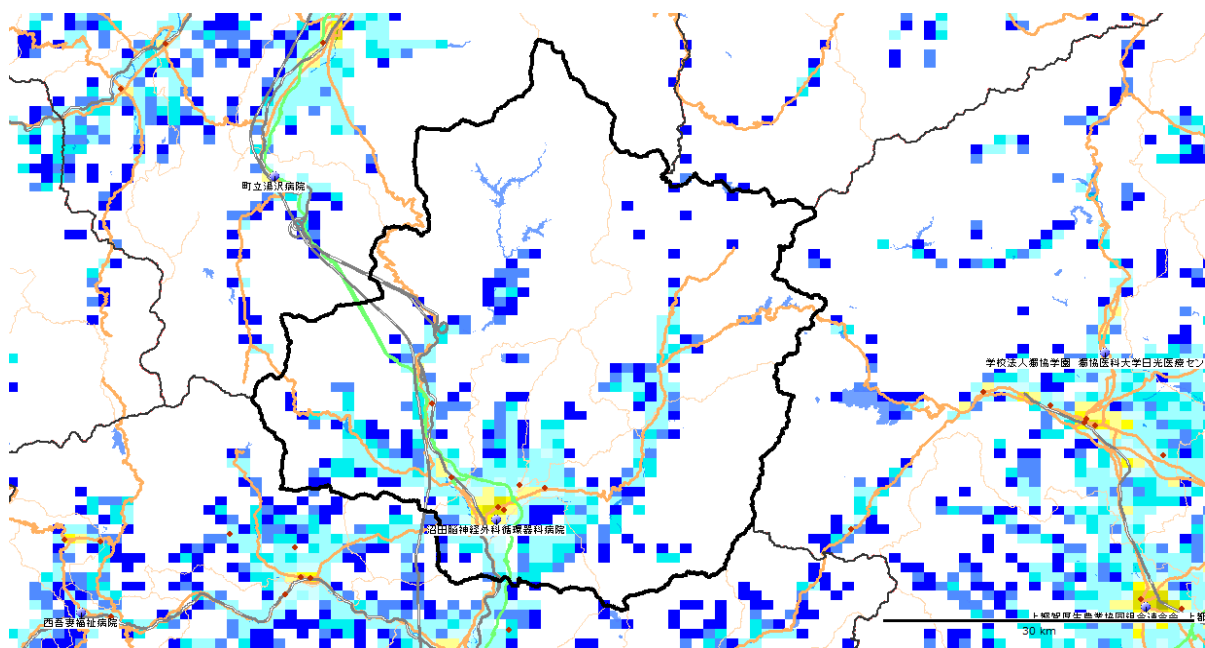
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



10-7. ぬまた 沼田医療圏

構成市区町村⁹ [沼田市](#) [片品村](#) [川場村](#) [昭和村](#)
[みなかみ町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(沼田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 沼田(沼田市)は、総人口約83千人(2015年)、面積1766km²、人口密度は47人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 沼田の総人口は2025年に74千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に60千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+7%)、2040年には16千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 沼田の一人当たり医療費(国保)は306千円(偏差値42)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 沼田の一人当たり急性期医療密度指数²は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.64で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。沼田には、年間全身麻酔件数が500例以上の利根中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 沼田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1757人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1018床(偏差値56)、高齢者住宅等が739床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1282人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム59、軽費ホーム53、グループホーム50、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、135人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(沼田医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

沼田医療圏の総人口は、2005年93927人が、2015年に83407人と11%減少し、2025年の人口が74302人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

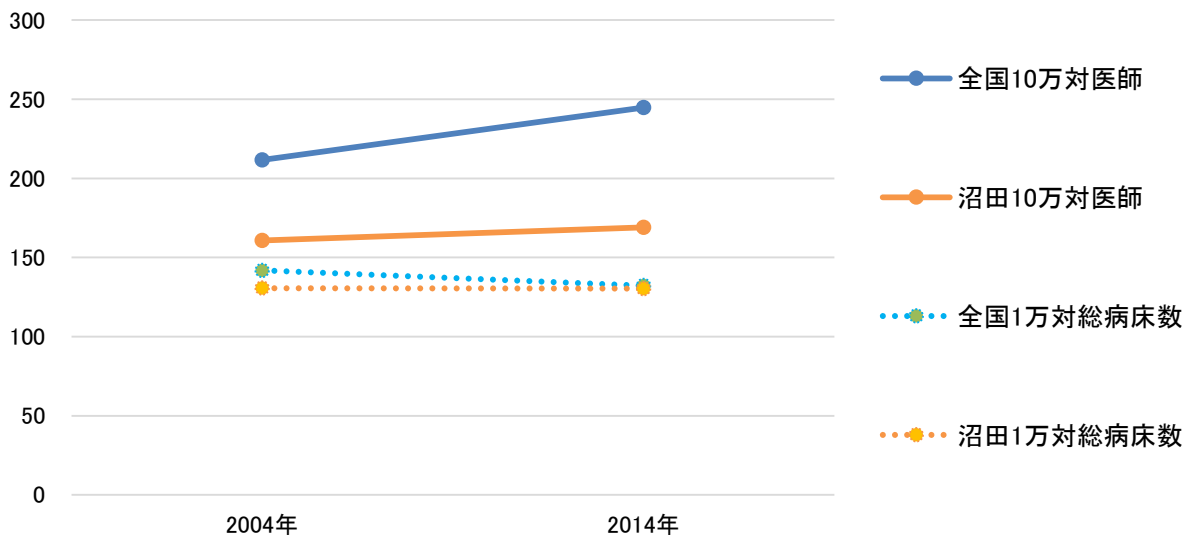
2004年の病院数が7(人口10万人当たり7.5病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に7(人口10万人当たり8.4病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり62診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に57(人口10万人当たり68診療所(全国平均79)偏差値44)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が1227床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に1087床(人口1万人当たり130(全国平均132)偏差値50)と、140床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

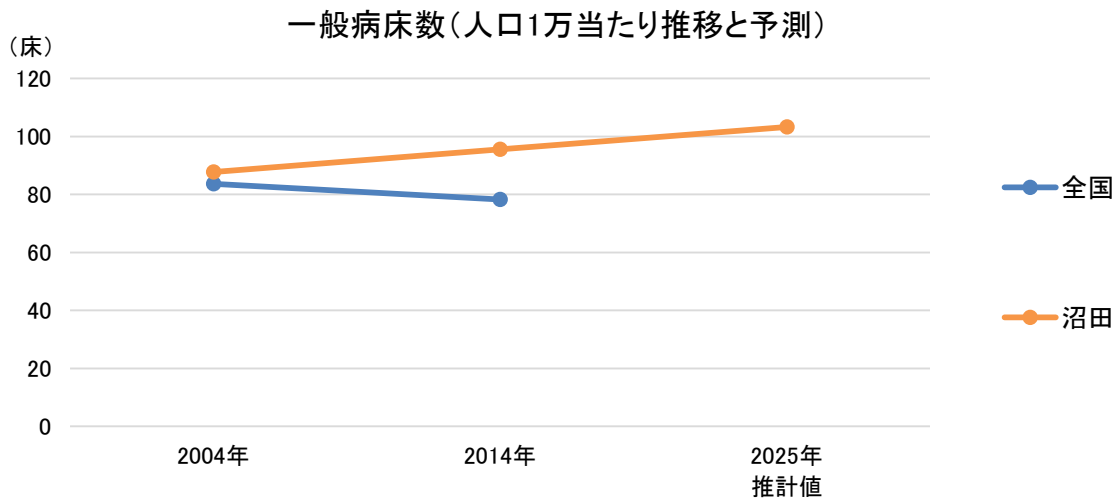
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が151人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に141人(人口10万人当たり169人(全国平均245人)偏差値42)と、10人の減少、率にして7%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



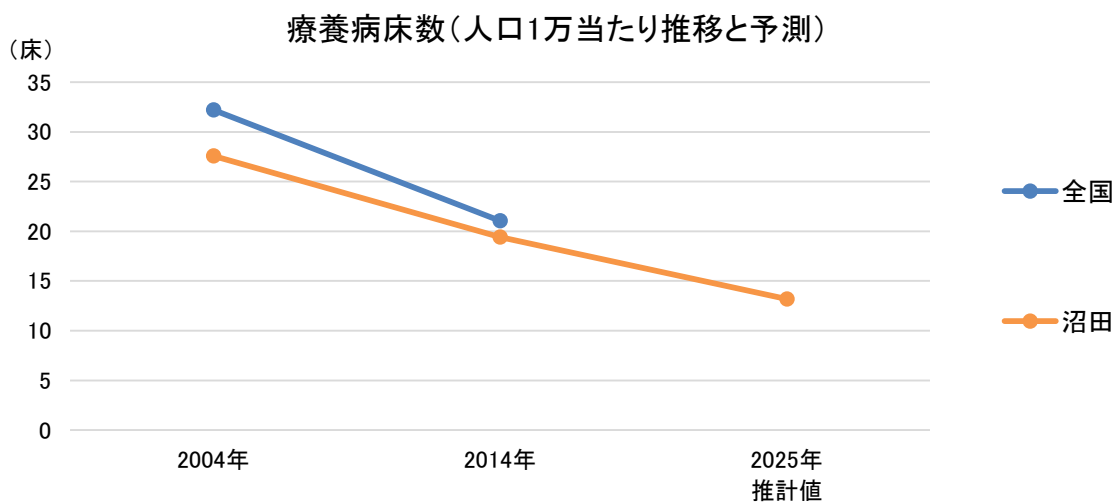
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が824床(人口1万人当たり88(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に797床(人口1万人当たり96(全国平均78)偏差値56)と、27床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には767床(2025年の推計人口1万人当たり103)になることが予想される。



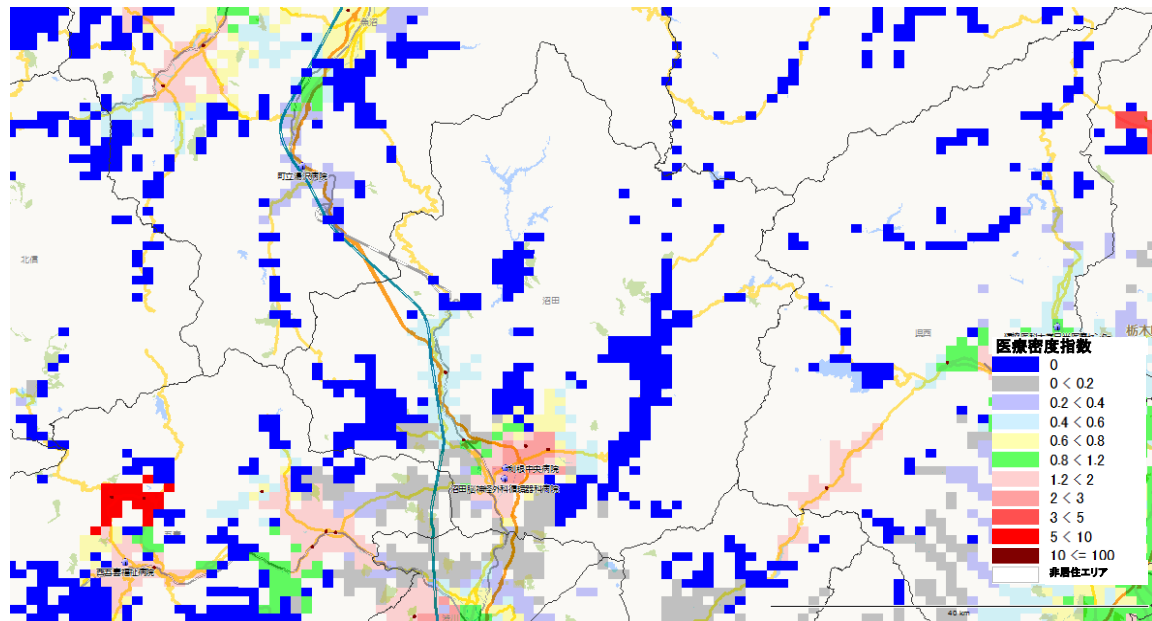
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が351床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に286床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、65床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には215床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



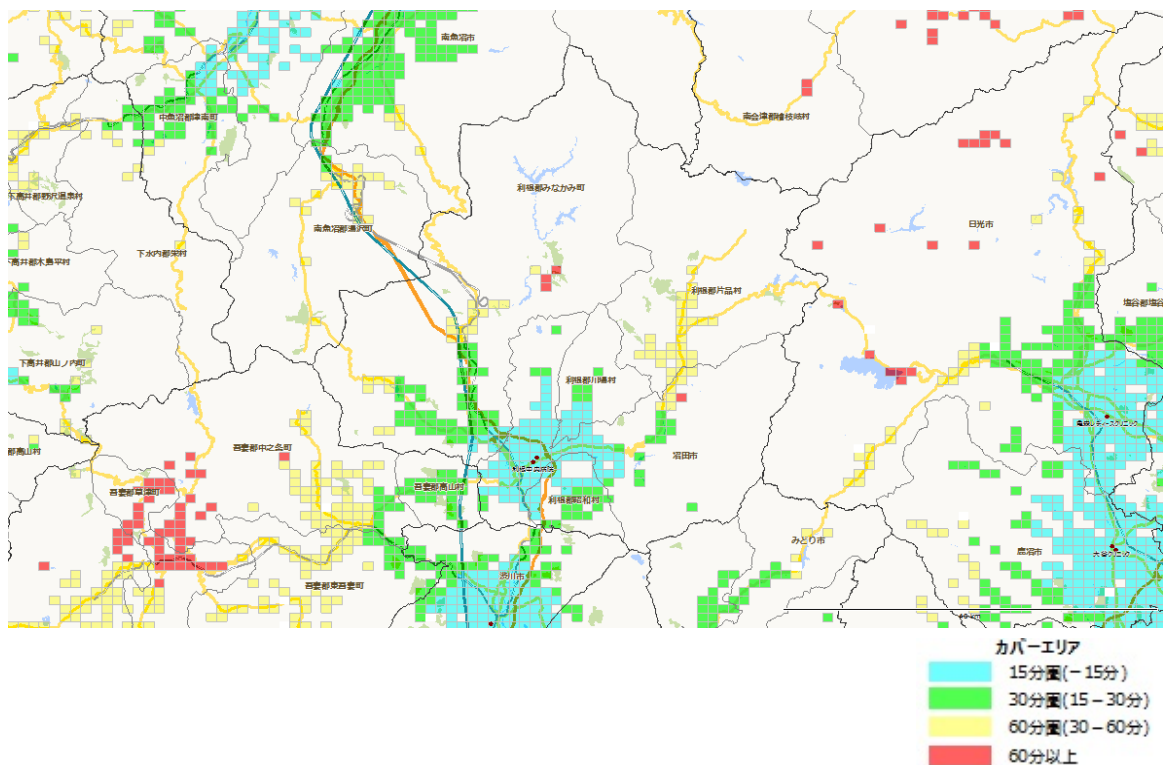
(沼田医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-7-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

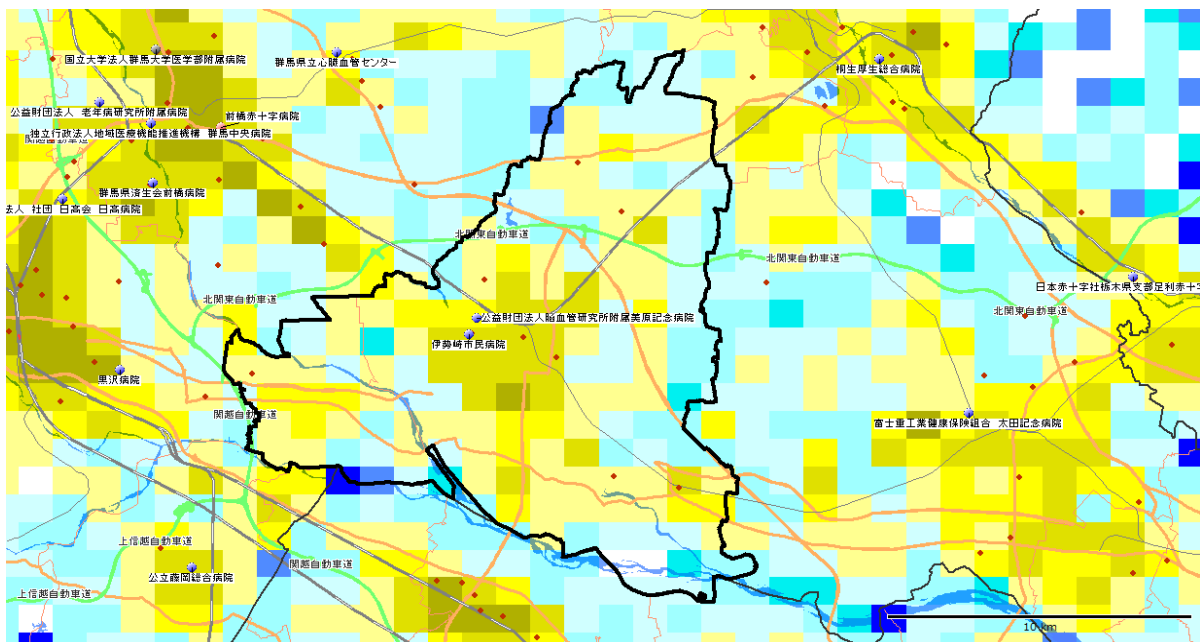
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



10-8. いせさき伊勢崎医療圏

構成市区町村⁹ [伊勢崎市](#) [玉村町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(伊勢崎医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 伊勢崎(伊勢崎市)は、総人口約245千人(2015年)、面積165km²、人口密度は1486人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 伊勢崎の総人口は2025年に240千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に223千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて37千人へと増加し(2015年比+42%)、2040年には40千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 伊勢崎の一人当たり医療費(国保)は301千円(偏差値40)、介護給付費は250千円(偏差値49)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 伊勢崎の一人当たり急性期医療密度指数²は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.74で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。伊勢崎には、年間全身麻酔件数が2000例以上の伊勢崎市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 伊勢崎の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2820人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1775床(偏差値55)、高齢者住宅等が1045床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2219人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住67である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、365人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-40%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(伊勢崎医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

伊勢崎医療圏の総人口は、2005年240615人が、2015年に245468人と2%増加し、2025年の人口が240208人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

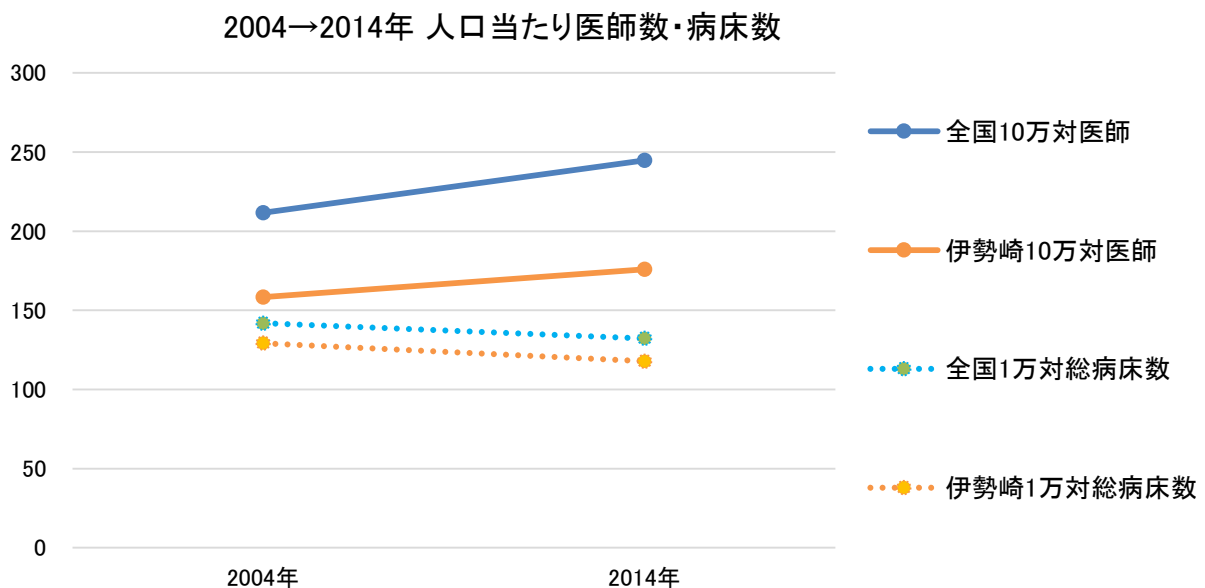
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が11(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に11(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が159(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に170(人口10万人当たり69診療所(全国平均79)偏差値45)と、11診療所が増加した。

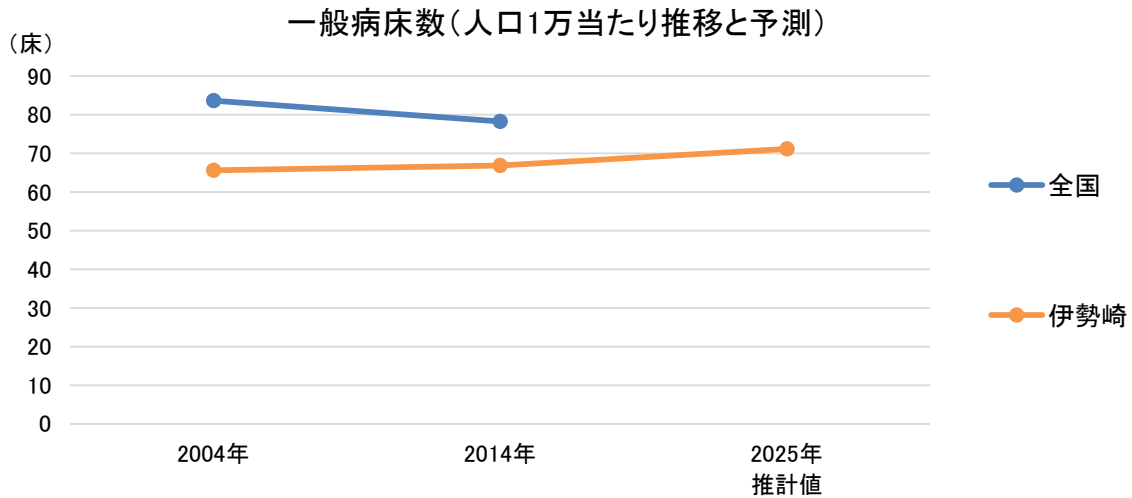
2004年の総病床数が3109床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に2893床(人口1万人当たり118(全国平均132)偏差値47)と、216床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が381人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に432人(人口10万人当たり176人(全国平均245人)偏差値43)と、51人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



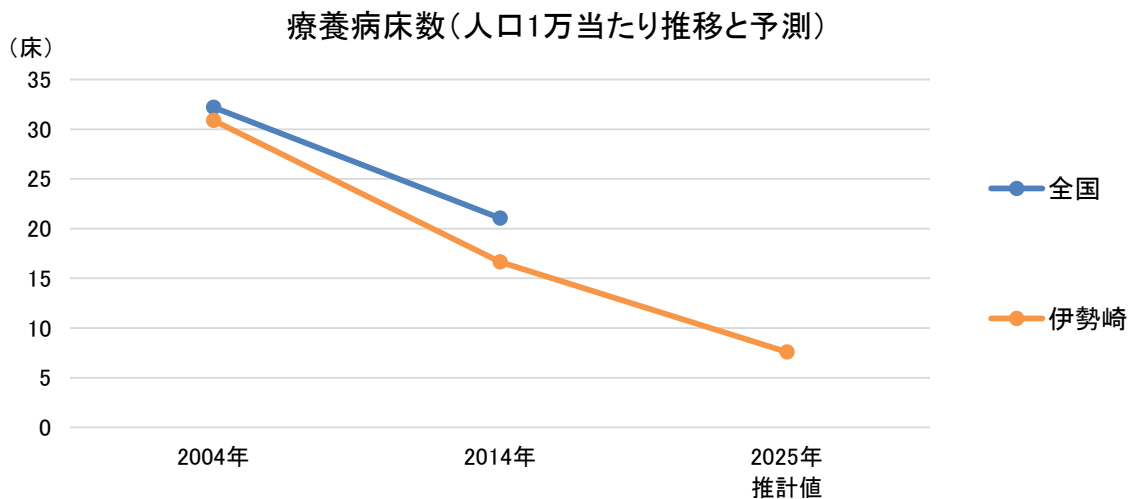
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1579床(人口1万人当たり66(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に1641床(人口1万人当たり67(全国平均78)偏差値46)と、62床の増加、率にして4%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1709床(2025年の推計人口1万人当たり71)になることが予想される。



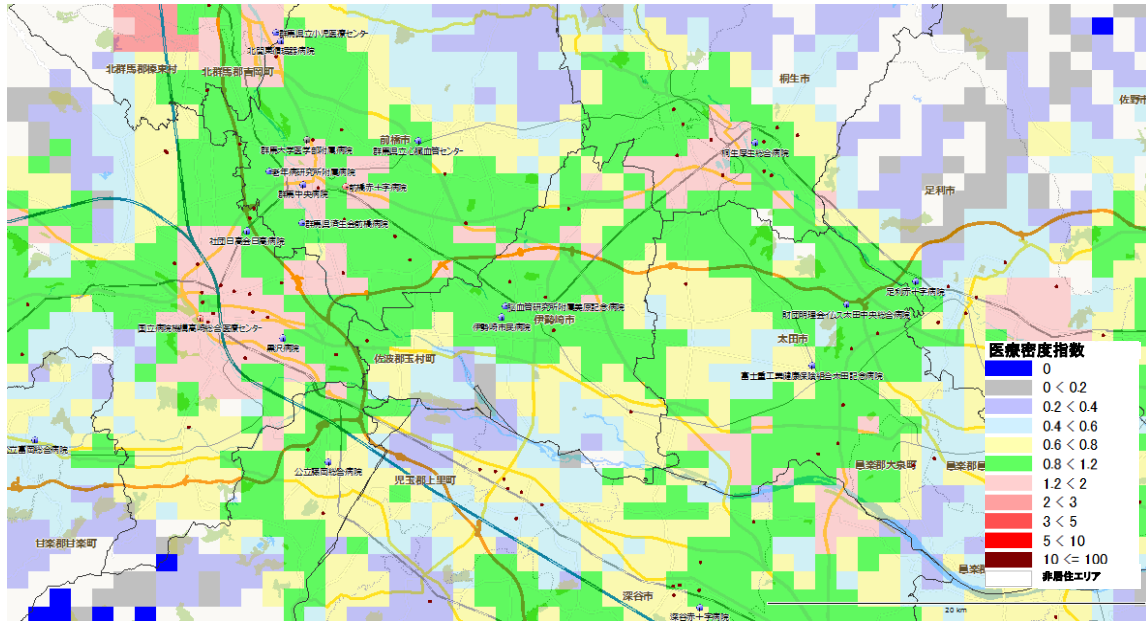
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が586床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に439床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値46)と、147床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には277床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



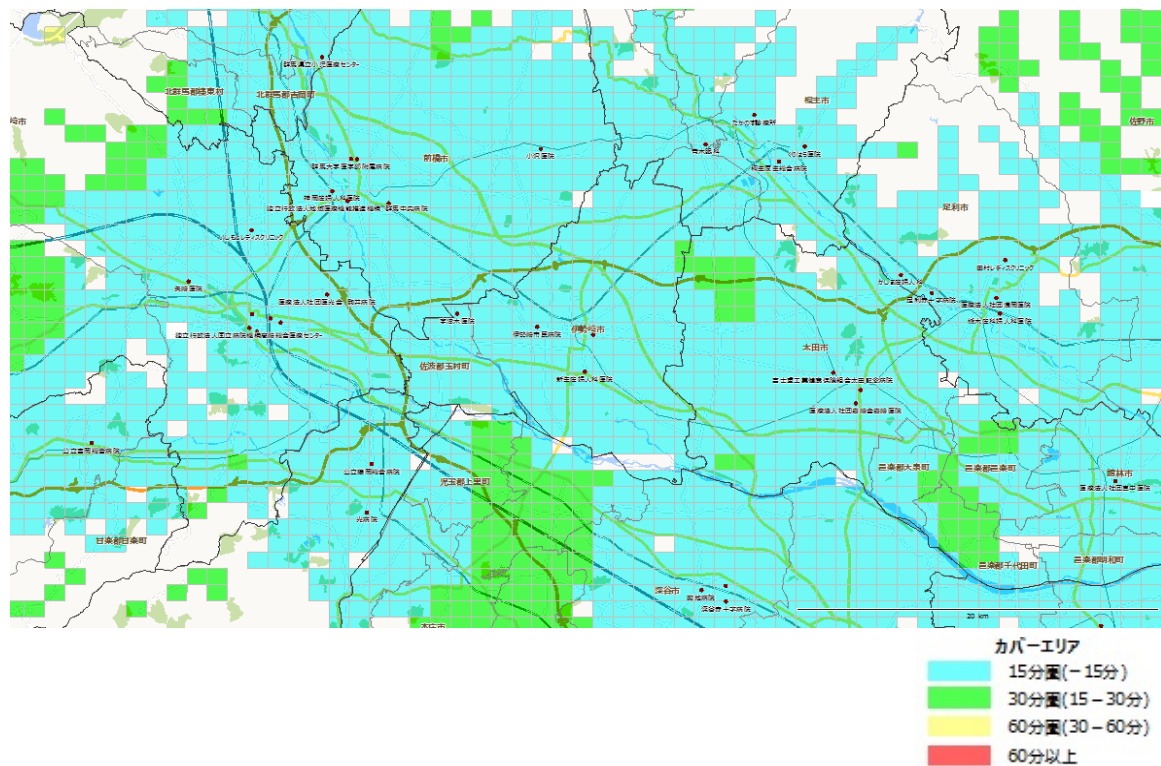
(伊勢崎医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

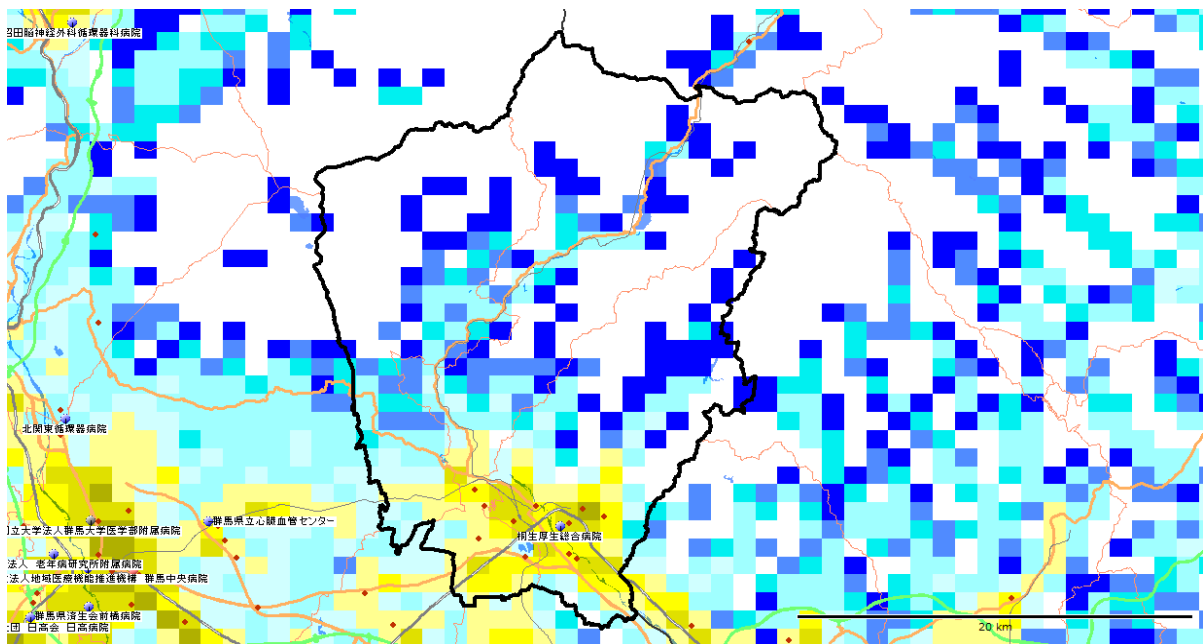


10-9. きりゅう 桐生医療圏

構成市区町村⁹ [桐生市](#)

[みどり市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(桐生医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 桐生(桐生市)は、総人口約166千人(2015年)、面積483km²、人口密度は343人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 桐生の総人口は2025年に149千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に121千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて31千人へと増加し(2015年比+24%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 桐生の一人当たり医療費(国保)は337千円(偏差値48)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 桐生の一人当たり急性期医療密度指数²は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.16で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。桐生には、年間全身麻酔件数が1000例以上の桐生厚生総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 桐生の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2559人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1917床(偏差値62)、高齢者住宅等が642床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1974人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム40、軽費ホーム54、グループホーム45、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、409人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(桐生医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

桐生医療圏の総人口は、2005年180152人が、2015年に165620人と8%減少し、2025年の人口が148925人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

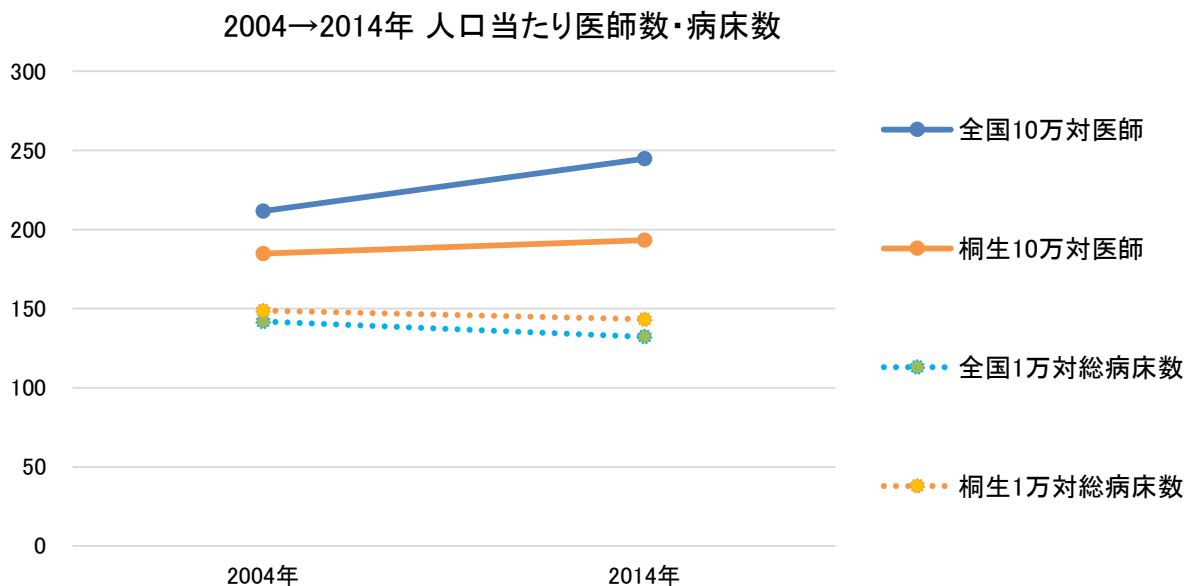
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に12(人口10万人当たり7.2病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が146(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に135(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値51)と、11診療所が減少した。

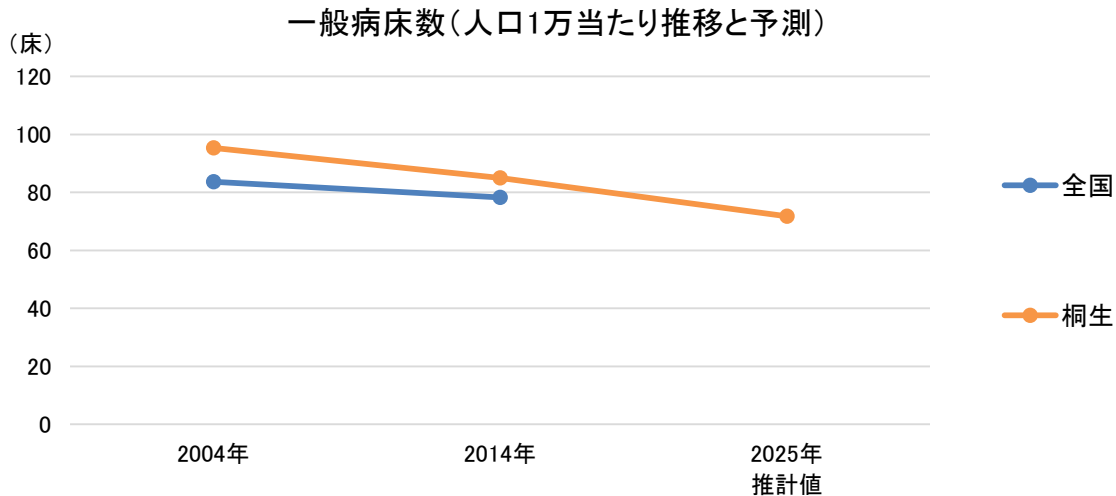
2004年の総病床数が2679床(人口1万人当たり149(全国平均142)偏差値51)であったが、2014年に2373床(人口1万人当たり143(全国平均132)偏差値52)と、306床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が333人(人口10万人当たり185人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に320人(人口10万人当たり193人(全国平均245人)偏差値44)と、13人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



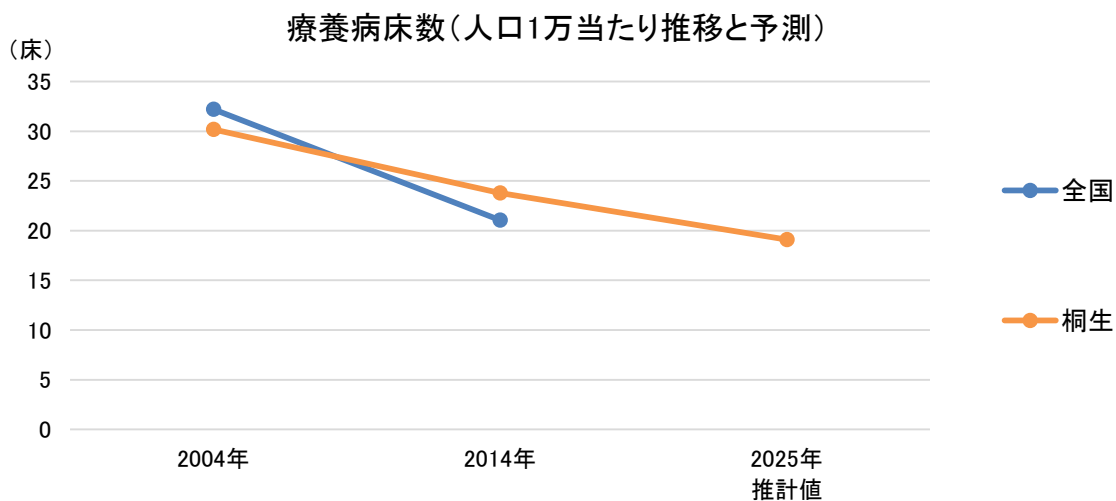
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1717床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1408床(人口1万人当たり85(全国平均78)偏差値52)と、309床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1068床(2025年の推計人口1万人当たり72)になることが予想される。



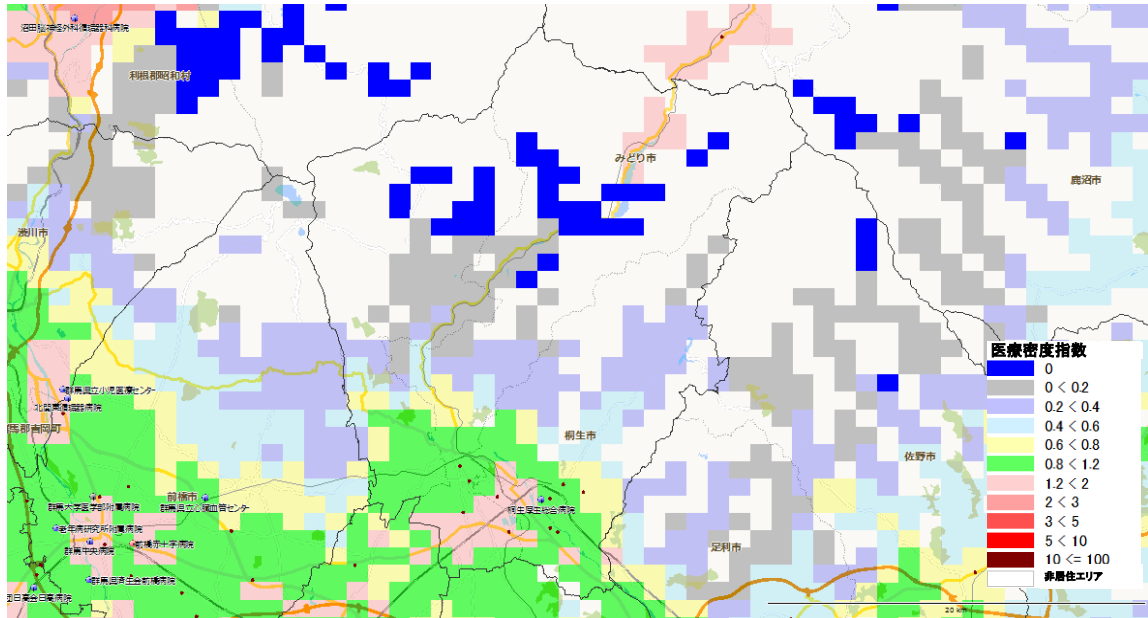
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が592床(75歳以上1000人当たり30(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に595床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値52)と、3床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には598床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。



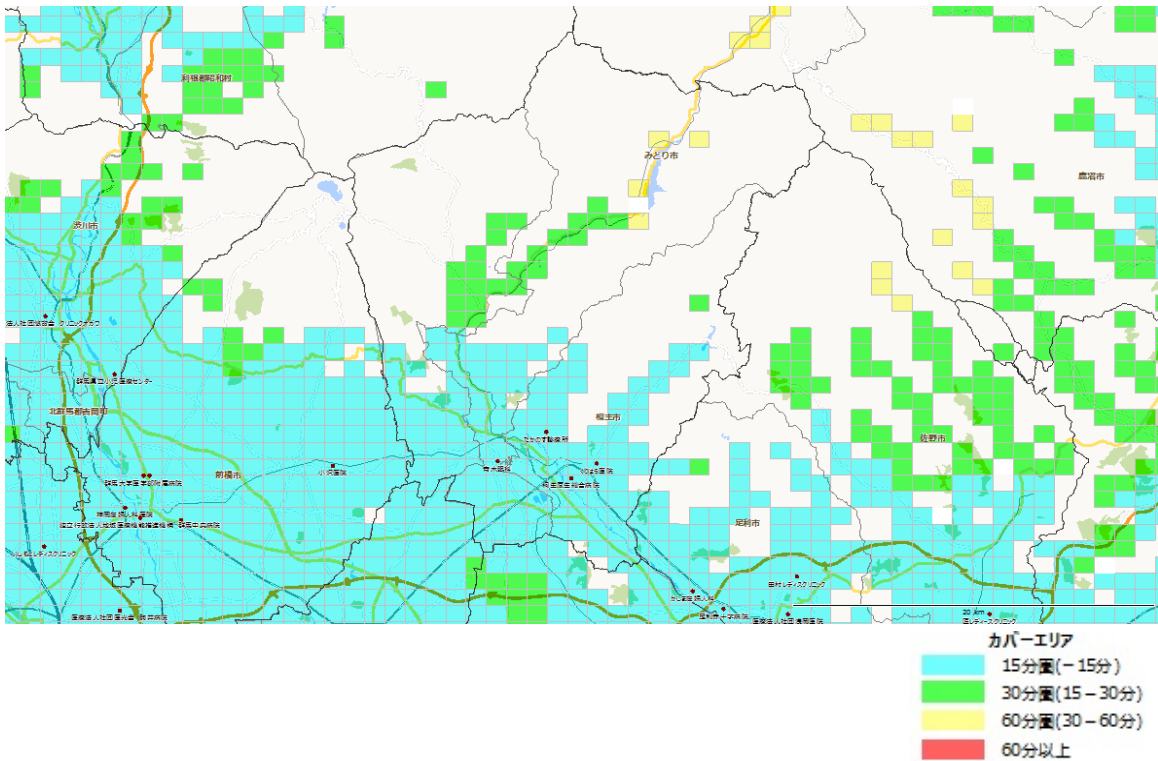
(桐生医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

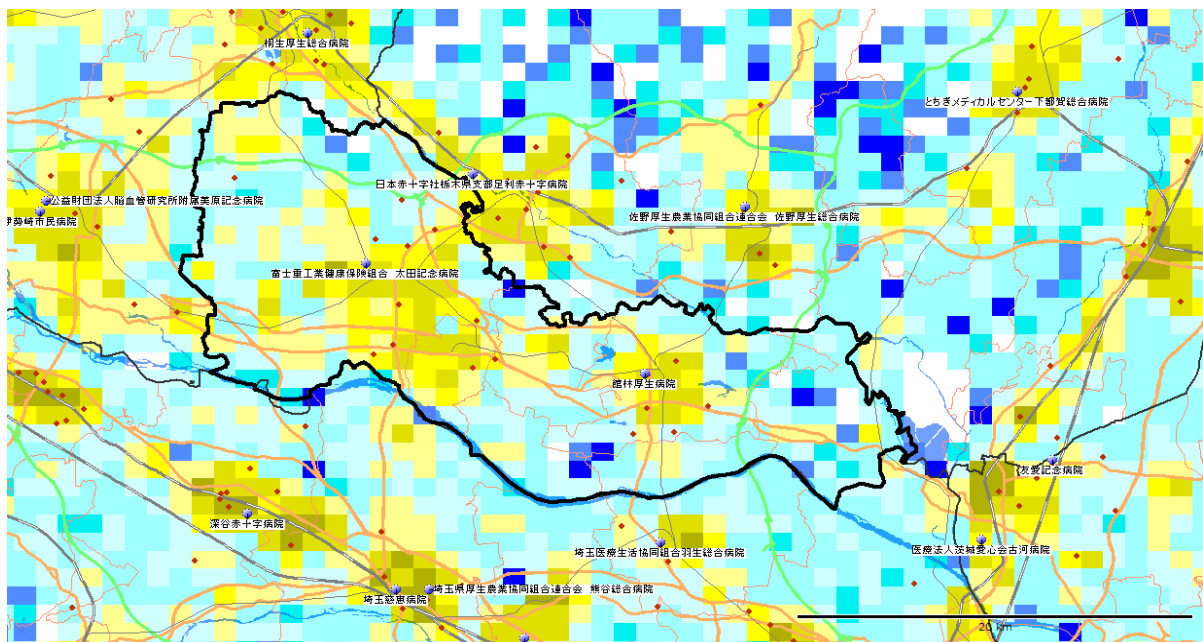
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



10-10. おおた たてばやし 太田・館林医療圏

構成市区町村⁹ [太田市](#) [館林市](#) [板倉町](#) [明和町](#)
[千代田町](#) [大泉町](#) [邑楽町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(太田・館林医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 太田・館林(太田市)は、総人口約401千人(2015年)、面積369km²、人口密度は1088人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 太田・館林の総人口は2025年に379千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に338千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の43千人が、2025年にかけて63千人へと増加し(2015年比+47%)、2040年には62千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 太田・館林の一人当たり医療費(国保)は295千円(偏差値39)、介護給付費は231千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 太田・館林の一人当たり急性期医療密度指数²は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.8で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。太田・館林には、年間全身麻酔件数が1000例以上の群馬県立がんセンター(Ⅲ群)、太田記念病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の館林厚生病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 太田・館林の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5185人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3239床(偏差値61)、高齢者住宅等が1946床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4096人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム49、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住55である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、425人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(太田・館林医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

太田・館林医療圏の総人口は、2005年400402人が、2015年に401479人と1%未満増加し、2025年の人口が378838人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

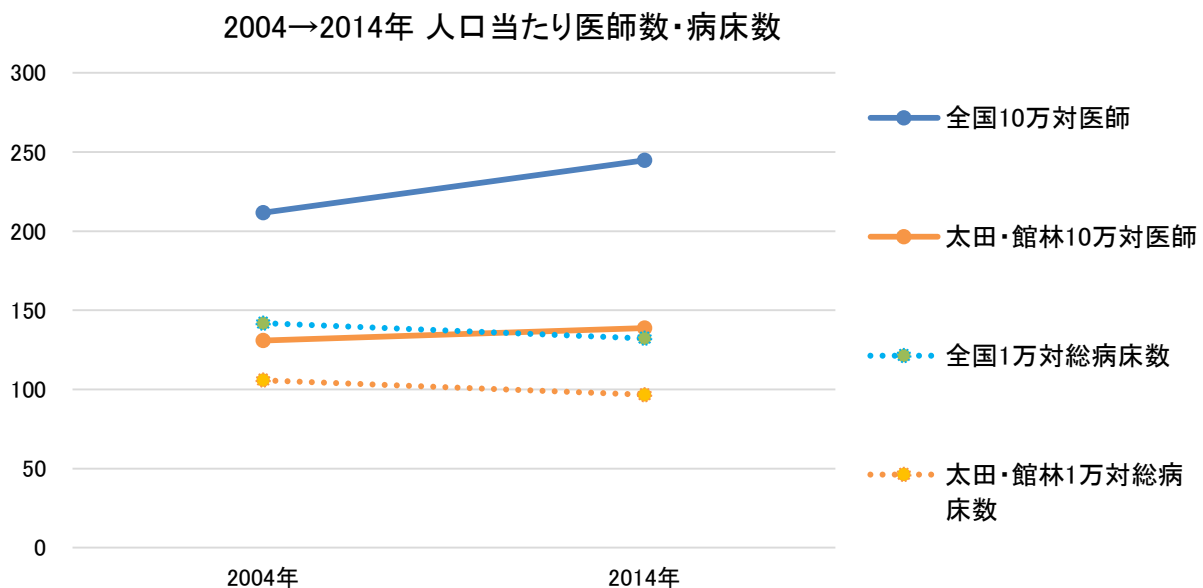
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が20(人口10万人当たり5病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に19(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が225(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に249(人口10万人当たり62診療所(全国平均79)偏差値41)と、24診療所が増加した。

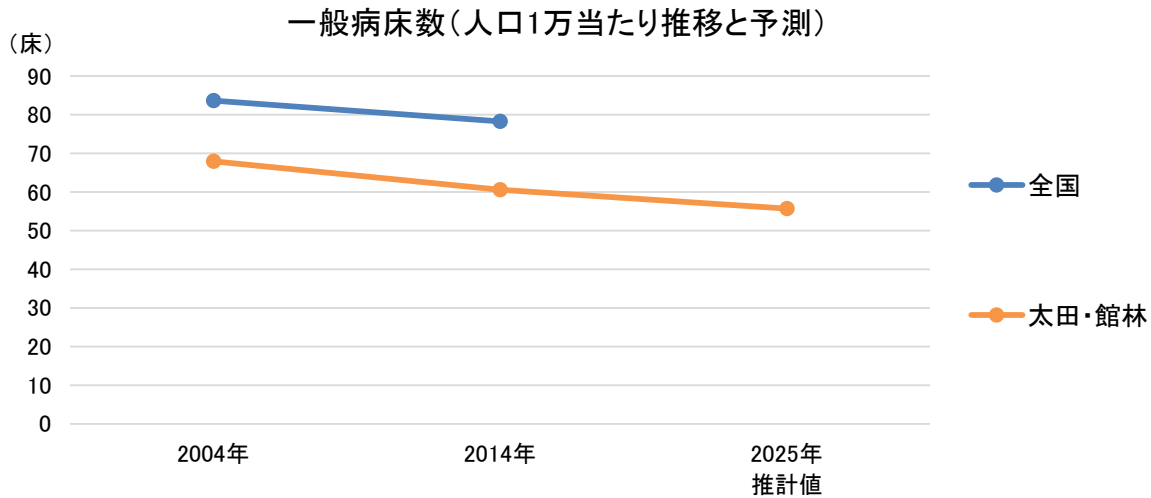
2004年の総病床数が4238床(人口1万人当たり106(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に3877床(人口1万人当たり97(全国平均132)偏差値44)と、361床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が524人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に557人(人口10万人当たり139人(全国平均245人)偏差値39)と、33人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



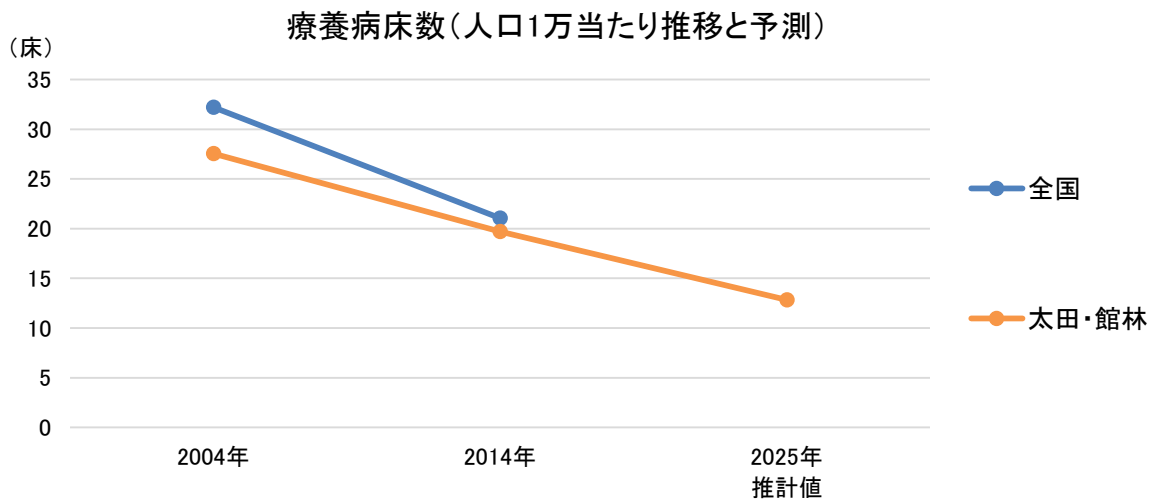
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2722床(人口1万人当たり68(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に2431床(人口1万人当たり61(全国平均78)偏差値43)と、291床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2111床(2025年の推計人口1万人当たり56)になることが予想される。



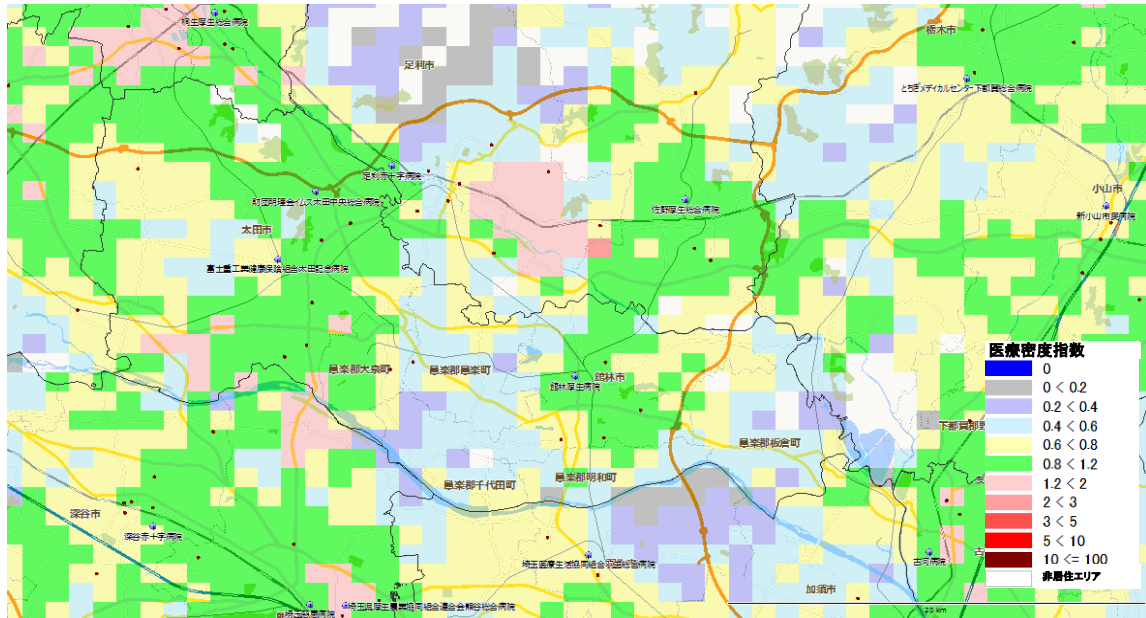
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が893床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に850床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、43床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には803床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



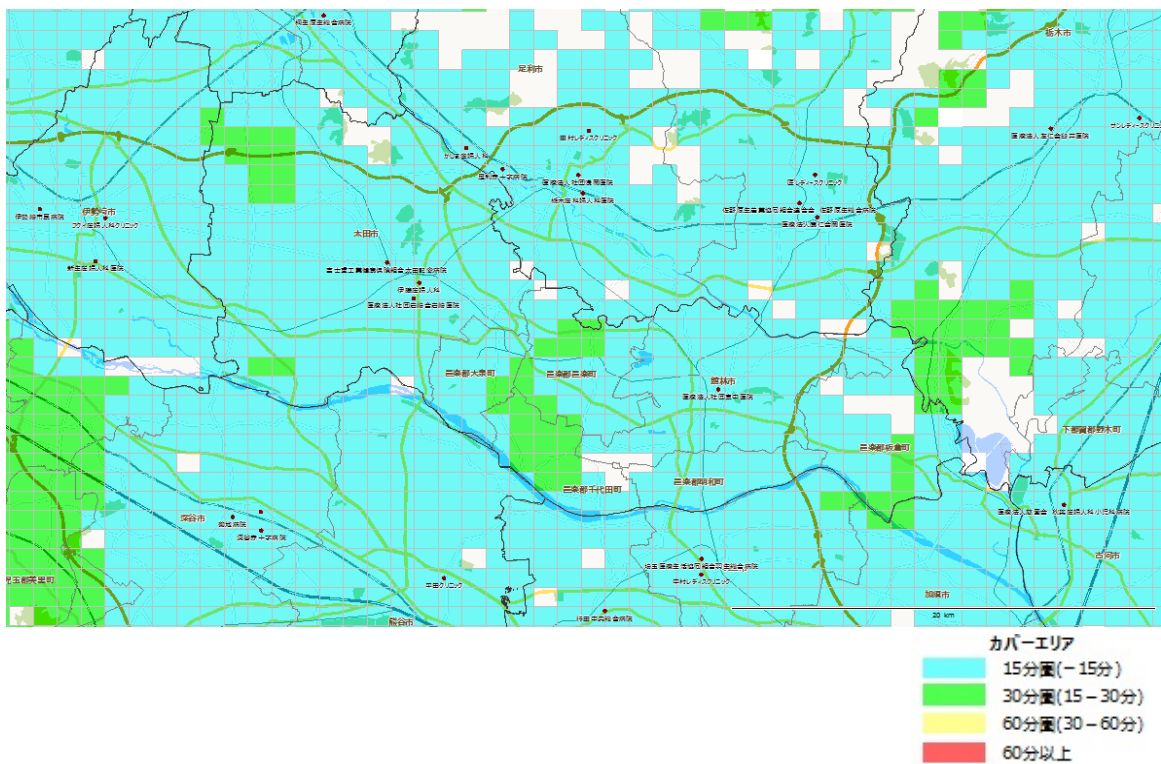
(太田・館林医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表10-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



10.群馬県(2017年版)

注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.1+(75歳以上人口)×5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。